

ヤマハニュース 10

YAMAHA NEWS NO.340 1991

ヤマハ人と技術 ● 感動創造企業を目指して——2

ヤマハテクニカルセンター

セフティーバイクライフの出発点

特集 ● モーターサイクルがくれた贈りもの——6

感動のフィールドへ!

● SUGO SUPERBIKE——17

世界のOWO1 SUGOを疾走!



感動創造企業を目指して

ヤマハ **人と技術**

ヤマハテクニカルセンター

ライセンス取得サポートに燃えるヤマハマン



セフティーバイクラ이프の出発点

S字、スラローム、一本橋、カリキュラムが進むにつれて自信と夢がふくらみ、教官の目も厳しさを増していく。そして、初めての免許証を手にした時のあの感動…、覚えていますか？

今号は、二輪車免許取得の専門学校として、グッドライダーの育成を担う「ヤマハテクニカルセンター」におじゃましました。免許普及活動に情熱を注ぐヤマハマン、荻村重夫さんの教官人生を、ご紹介しましょう。

ドカンとカミナリも時代とともにトーンダウン

念願の二輪免許を取得したとき「行きたい所へ、いつでも行ける」そんな自由な気持ち……。ピュアなハートがちよつとばかり懐しく思い出される方もいらっしやるのではないだろうか。

初々しいっぱいの時に出合う様々な体験は、その後のバイクラ이프をも大きく左右する、と思っている。

とりわけ限定解除は、厳しい試験をパスしなければならぬだけに、合格の喜びはひとしおだ。合格者は大きな自信がついて、他のことにもバリバリのやり手になることだ。とあると聞く。憧れの大型二輪免許取得。その感動の合格までをサポートする集団が、ここに紹介する「輪専門学校「ヤマハテクニカルセンター」のスタッフたちだ。中でも16年間もの指導育成キャリアを持つ荻村重夫さんは、優しくて厳しい名物インストラクターとして知られている。

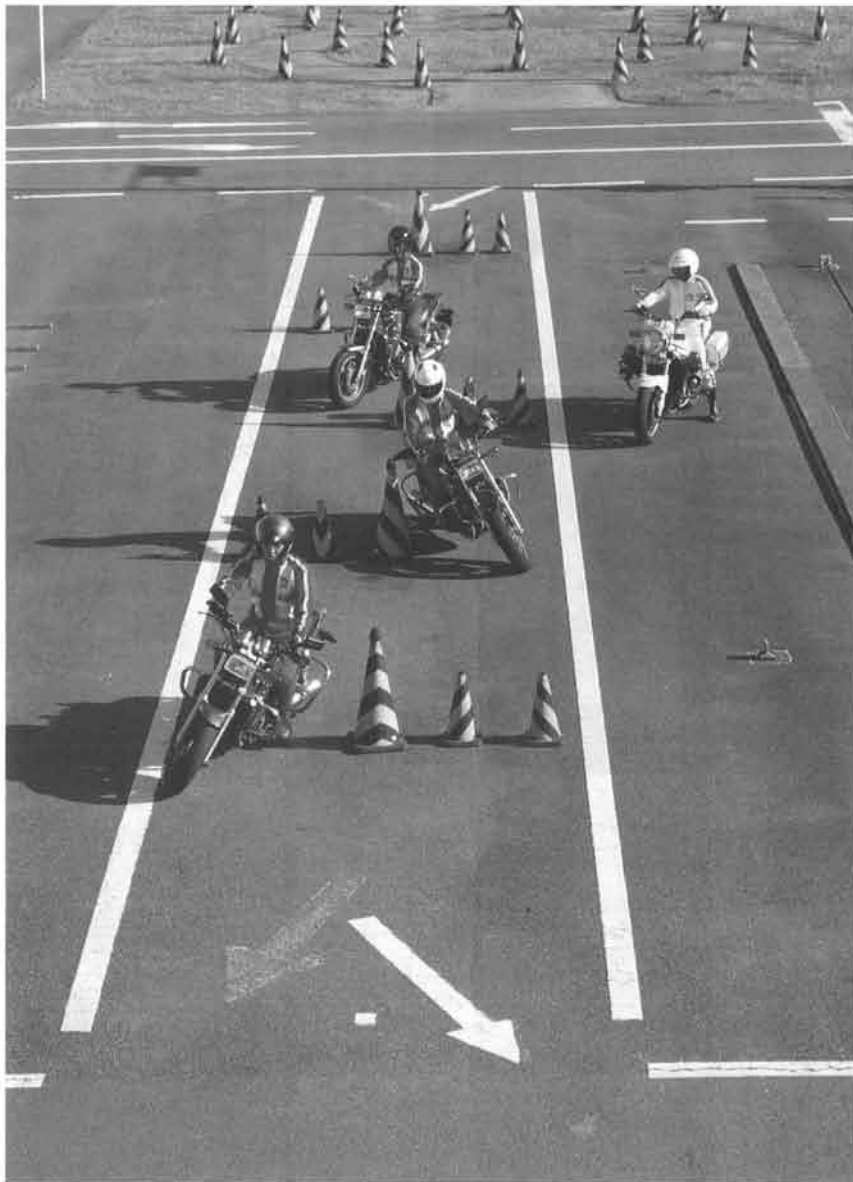
ヤマハ発動機本社ビルに隣接していたヤマハテクニカルセンターは、昭和55年（1980年）に現在の掛川市に

移転したが、荻村さんはその5年前の昭和50年からインストラクターの道を歩みはじめています。

ご挨拶もそこそこ荻村さんは、受

講生への指導の今昔を話しはじめた。「別に私が歳を取って丸くなったわけではないのですが、最近、生徒さんに対して怒鳴らなくなったんですよ。昔は怒鳴ると、かえってファイトを燃やす人が多かったのに、今の若い人は怒鳴るとすぐにしよけてしまうんです」ヤマハテクニカルセンターに、オニムラ「有り、と恐れられた（失礼）あの荻村さんが、そういうのだ。本気で取り組み、受講生のためだと思うからこそ怒鳴るのだが、今ではそれがマイナス効果になってしまふ。もちろん安全な運転方法を身につけてもらうこと

が最優先するから止むを得ずドカンと一発カミナリを落とすこともある。でも、長年の経験から受講生の性格を見たうえで、それぞれの性格に合ったベストなアドバイスを与えるように、指導姿勢が変わった、というのだ。OBのひとりとしては、カミナリの回数が減るのは淋しい感じがする。しかし、なるほどな、と思う。画一的な指導にはどうしても限界がある。ヤマハが信頼できるモーターサイクルを造るように、受講生一人ひとりに最適な教え方を、言葉と模範走行で分かってもらい、しっかりした信頼関係を作る。





そこからカリキュラムを進めているのだ。ドカンと一発のカツが、信頼関係を生んだ時代ではないのである。

限定解除を夢みて 全国からやってくる

一方、受験生の気質はどうだろう。「やはり、ずい分変わってきましたね。以前は原付免許の人がステップアップするために自動二輪免許を取りに来て

いました。ここに通うにしても原付バイクが大半でした。でも今は、すべてに普通免許を取得している人が多く、クルマで来ます。それと、前知識の点で大きく変わっています。今の若い人はギヤシフトやクラッチのことをまったく理解していない。以前は基本操作の知識をほとんどの人が持っていたものです」

それはつまり、受講生の層がバラエ

ティーに富んでいるということである。当然、インストラクターは、人間的に奥行きと幅のある人が求められる。心の通い合った関係が重要になってくる。この心の通った関係こそ、荻村さんが「教官人生」に情熱をそそいでいる点なのである。

時代が、受講生が変わろうが、心の通った指導姿勢、つまり荻村さんの熱い願いは変わらない。それは安全に對



する考えだ。「安全に対する意識は、

厳しい取り組みの中でなければ、けっして身につかない」という信念だ。こ

れは、当センターの基本姿勢でもある。

モーターサイクルに乗ることは実に楽しい。でも十分なテクニックとマナーがなければその楽しさは継続しない。

ケガをすれば人生の大きな損失だし、後悔するにきまつている。だから荻村さんは受講生たちに、厳しくなる。

ライダーたちは、口コミで価値ある情報をお互いに伝え合う。全国からヤマハテクニカルセンターに、はるばる大型免許取得を夢みて受講に来るのも、荻村さんをはじめとした当センターのインストラクターの「心」が伝わるからだと思う。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

「最近はず、笑顔でできる限定解除」がキヤッチフレーズなんです」と、半ば照れながら当センターのPRをするのだ。

積極的に地域社会へ 二輪車安全運転の取り組み

「オニムラ」いやいや、荻村さんに惹かれる受講生は多い。厳しく、効率よく、そして人間味あふれる指導。ここヤマハテクニカルセンターには、そんな荻村さんに勝るとも劣らない熱血漢が勢ぞろいしている。お店のお客さまにもぜひ受講をおすすめしてみてもどうだろうか。

ところで、ここヤマハテクニカルセンターは、もちろんY・B・S（ヤマハビッグバイクスクール）だけの活動ではない。小型、中型免許の取得サポートのほかに、50ccバイクスクール、さらに二輪指導員のための二輪指導員

資格取得コース」に「二輪指導員実力養成コース」、また、業務で二輪車運転に携わる方々のための安全運転講習会を、原付コースと自動二輪コースに分けて行なっている。

さらに企業安全運転指導者養成講習会、交通安全教育に取り組む学校に対しての講習会の実施や指導員の派遣、郵政電力会社など地域社会への安全運転講習など活動は幅広い。



日本で最初に安全運転カリキュラムを確立したヤマハテクニカルセンターだが、このほかにも青年海外協力隊への協力や、出張指導制度の導入などスタッフの情熱だけでなく、システムとしても二輪車専門校のパイオニアとして、拡充を図っているのである。

荻村さんはいう。

「卒業生から、楽しいバイクライフを送っている便りや、大型免許合格のお



礼の手紙が届くんです。その時が、一番うれしい。命を大切に、いつまでも乗り続けてほしいね。長持ちするグッドライダーを育てること、これが私の信条なんです」

荻村さんは、表情をくずしながら卒業生の話をし、真顔になってきつぱりとそう言った。インストラクターの誇りと自信に満ちた響きであった。

ヤマハテクニカルセンター概要

1973年4月1日、ヤマハ発動機株式が、①二輪車安全運転の推進 ②原付および自動二輪免許の取得希望者に対する教育訓練 ③安全で楽しいモータースポーツの普及 ④二輪各種指導養成の目的をもって設立。

静岡県公安委員会指定二輪専門校である当センターの主な活動は、Y.B.S (ヤマハビッグバイクスクール)をはじめスポーツバイクセーフティスクール、50ccバイクセーフティスクール、学校・職域安全運転講習、二輪指導員養成。また、レディスメカニクススクールや初心者ツーリングスクール、「セーフティニュース」(年4回発行)など修了生へのバイクライフを積極的に支援している。

使用車両 大型(750cc)30台、中型(400cc)40台、小型(125cc)20台、原付(50cc)30台



荻村重夫プロフィール

- 1970 ヤマハ中部総岐阜営業所セールスマンがヤマハマンとしての第一歩。
- 1975 ヤマハテクニカルセンターに赴任。以来現在まで免許普及活動に情熱をそそぐ。*オニムラ*こと*鬼の荻村。と教習生に恐れられているが、最近は大丸になったとか。バイク歴27年。モーターサイクルを愛しマリンスポーツが趣味。

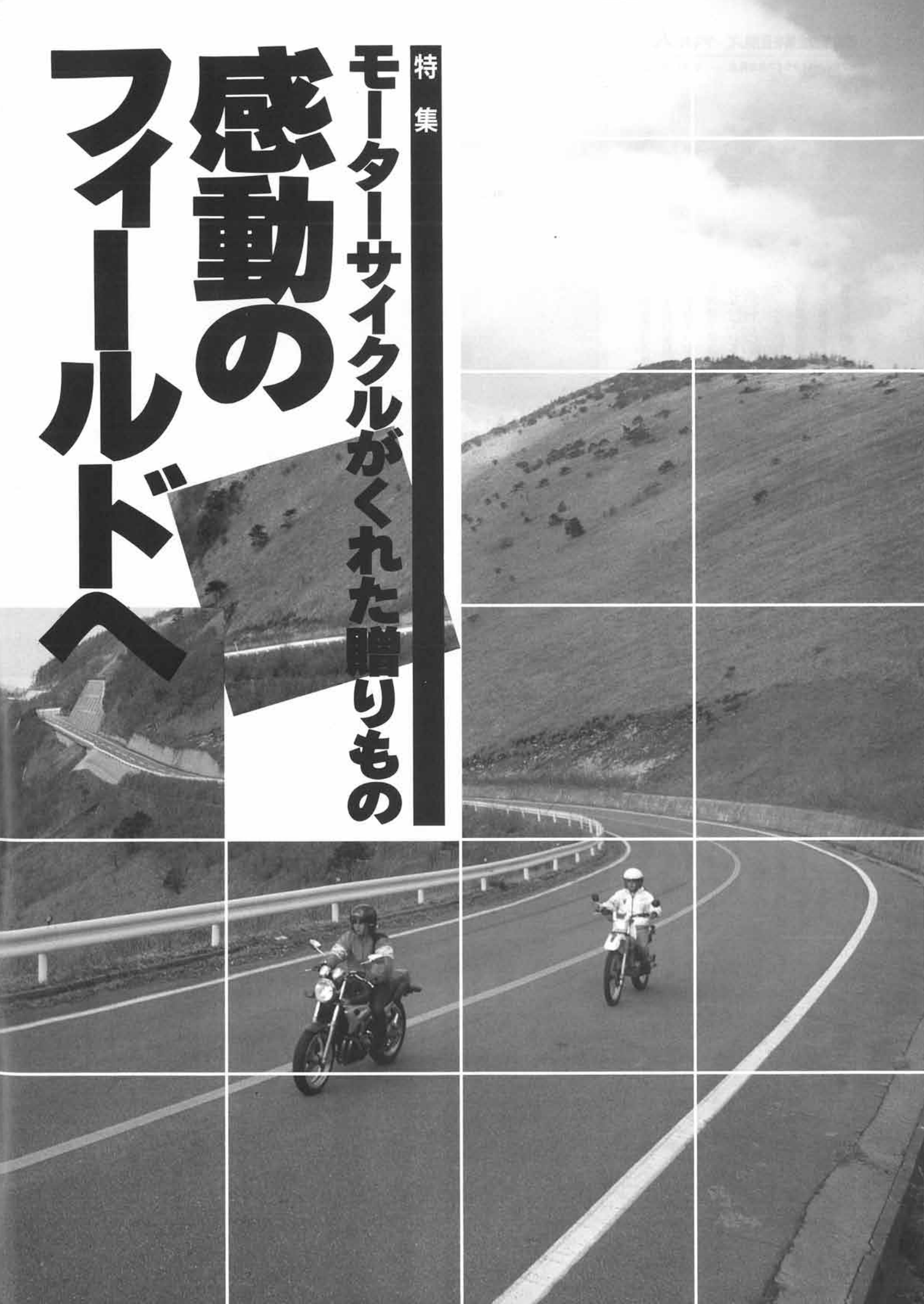


特集

モーターサイクルがくれた贈りもの

感動の

フリーロードへ



大地がグリーンと傾いていく。風景が飛び散る。とてつもない緊張と解放感。
旅立ちが雨であっても、やがて虹が迎えてくれたあの幸福感。
モーターサイクルとの出会いは様々ちがっていても、叫びたくなるような感動
は誰にも平等に与えてくれる。
いま季節はモーターサイクルからの贈りものをドツサリいただく秋。
感動のフィールドへ、もっと多くのお客さまを誘うシーズンだ。



憧れのヒーローとの再会

感動をくれたヒーローと、同じスターティンググリッドに並んだ鈴木秀明選手の忘れられない一日。



会場の入間川が近づくと、ドクンドクンと心臓が胸を打ち始める。オイルの焼ける匂いが鼻孔につき、カン高いノイズが耳に飛び込んでくる。5人の歩調も自然と速くなっていた。

ヒデアキ少年、14歳。中学校の陸上部員で長距離選手。この日は友人に誘われて入間川にスクランブルレースを観戦に来ていた。その後約30年間にわたるモトクロス人生、始まりの日である。

「ウワサほどすこくないな」というのが第一印象だった。ガツカリしかけたヒデアキ少年だが、そんな思いもセニアクラスのスタートとともにぶっ飛びことになる。

何10台もの赤いゼッケンが、疾風ののごとく少年たちの前を抜けていく。少年たちは興奮した。ヒデアキ少年だって例外ではない。ひときわ大きな声で、故・矢島金次郎選手と鈴木忠男選手のデッドヒートに声援を送った。

レースが終了すると、一日にして少年たちのヒーローとなった矢島選手が、あろうことかヒデアキ少年に声をかけてきた。観客の中でも特に目立っていたのだらう。

「お前、ずいぶん汚い格好してるなと、あきれた口調で汚れた服を指さした。

矢島選手にしてみれば、元気な少年をからかうつもりだったに違いない。見上げる顔はニコニコしている。その笑顔に触れた瞬間「俺も陸上やめて、バイクをやろう」そう思った。

そして6年後、ジュニアまで昇りつめた20歳の時、少年はヤマハのフアクトリライダーとなっていた。職業ライダーとしてのスタートだ。「まず先輩方にあいさつをしよう」——そう考えて、矢島選手のピットを訪ねた。

「ヤマハの鈴木秀明と申します。よろしくお願いします」

大きな声で自己紹介し、一礼する。すると意外な言葉が返ってきた。

「あの時の汚いガキじゃないか？」

そうか、お前もモトクロス始めたのか？」なんと、6年も前の、しかも観客のひとりでしかなかった彼のことを覚えていてくれたのだ。秀明さんは回想する。

「素直に感動しましたよ。モトクロ

機械との不思議な一体感の謎
純粋な研究対象だったはずのバイクに、乗りこなす楽しさを発見した時、長江啓泰教授は不思議な魅力にとりつかれた。

「バイクはバランスで乗るもの。静止したままでは倒れてしまう。

そこがクルマとの大きな違いだけれど、それを上手にコントロールして走らせるところに一番の魅力を感じますよね」と長江さんは話を切り出した。

長江啓泰工学博士、日本大学理工学部機械工学科教授。交通工学の分野では日本を代表する研究者であり、またバイクの交通安全教育に関する第一人者としても名を知られている。

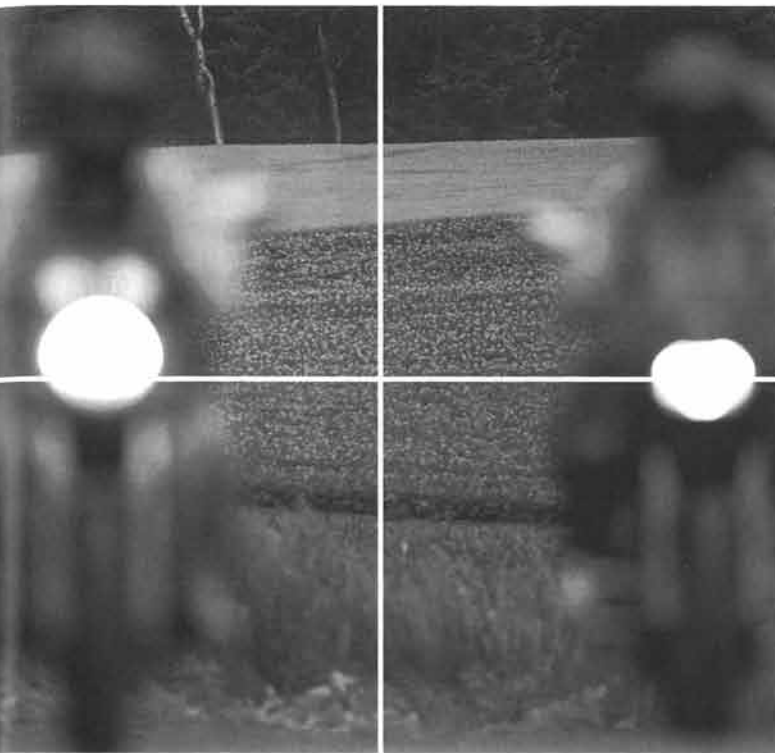
長江さんのバイク歴は長い。まだ大学4年生だった頃、卒業論文のテーマとして、バイクの操縦性、安定性を取り上げたのがキッカケというから、いかにも学者らしい話である。「当時ねえ、ちようと自動車の操縦性が初

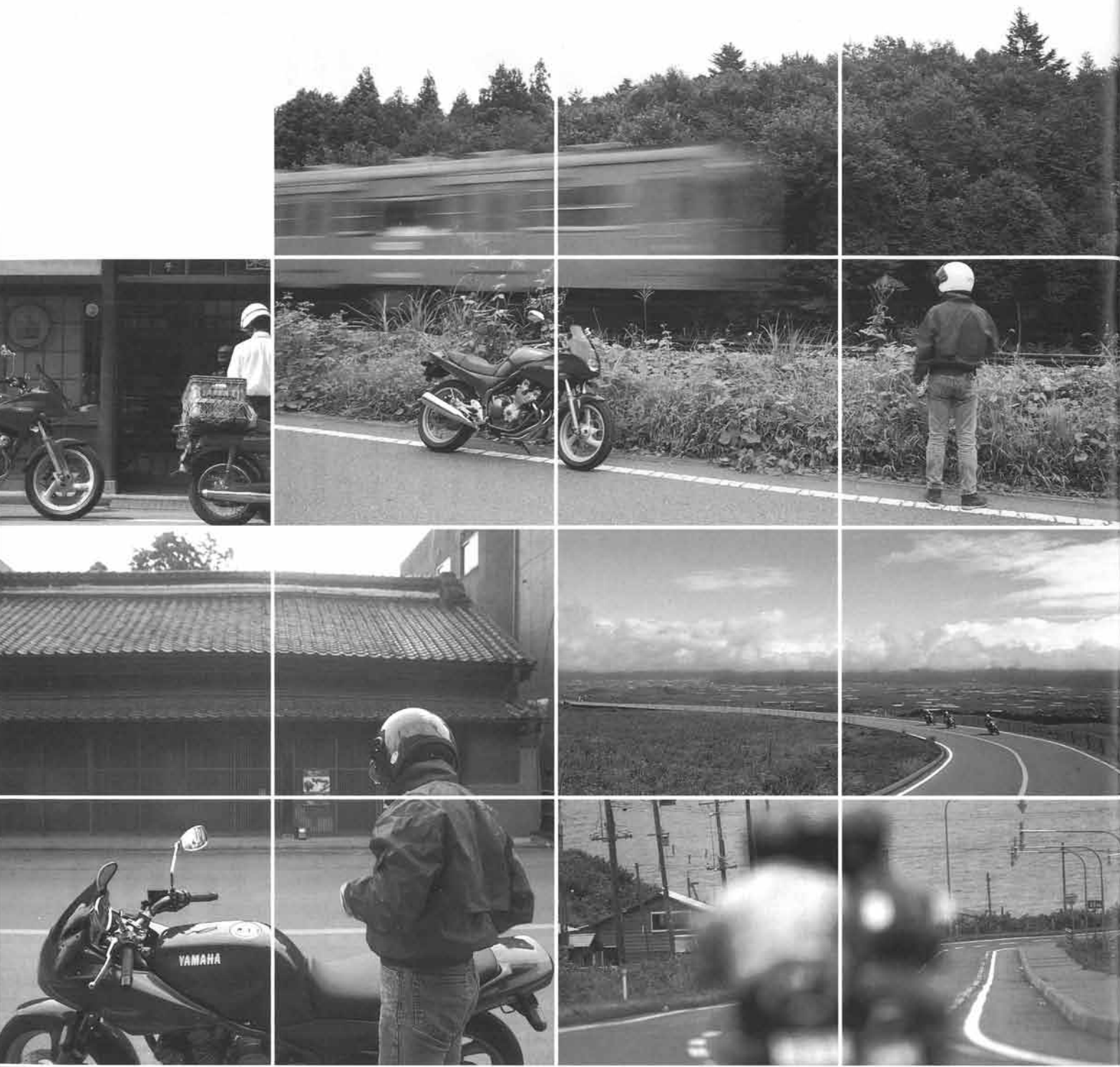
スやったり、ラリーやったり、その都度いろんな先輩方に影響受けてきましたけど、あの出来事ほど心に残ってるものはない。駆け出しのライダーにとっては、天皇陛下に声をかけられたようなものですか」

43歳になったいまも、ステージをラリーに移して走り続ける秀明さん。矢島選手に貰った感動を、今度は秀明さん自身が次の世代に渡そうとしている。

めて学界にテーマアップされたんですよ。じゃあ自分はバイクでやろうと決めて、そのとき自動二輪の免許を取ったんです。

ところが、コレがなかなか難しいんだよね、運転は笑。年齢的に遅かったから、体の覚えが悪いでしょう。もう34年乗ってて、公道で転倒したことは一度もないのが自慢だけど、正直、今だに下手ですから。ともかく、乗り始めからそんな具





合いなんで、ちゃんと走れるようになった時のバイクとの一体感ノコントロールする楽しさノバイクってこんなにおもしろい乗り物かかって思いましたね。

それですますバイクの走りのメカニズムという謎にはまったんです」

その後、研究を通してさまざまなバイクに触れ、数多くのライダーを見てきた中で、バイクほどワソのつけない乗り物はないと思った。

「同じバイクでも、乗る人しだいで走りが違うし、上手なふり、下手なふりってできないんですよ。

それだけ人間と一体化してしまう、というか、人間が一番近い乗り物なんです」

夢は親子全員ツーリング

FJ1200で毎日バイク通勤する49歳のおとうさん、
神谷孝則さんはバイク一家の長。

「クルマにしたこともあったけど、3時間もかかるし、電車はイヤ、その点、バイクはいいね。45分で着いちやうもんねえ」とは神谷孝則さんがバイク通勤している理由。

千葉県津田沼市の自宅から、東京銀座の勤め先まで、毎日毎日、雨の

日も風の日もバイク通勤一本やりで、実用性の高さを高く評価する。

「理由はそれだけ？ それじゃあもう何年も続かないよ。結局バイクが好きなんだよ」と行きつけの野沢モーターズ社長。

「そうかなあ、そうかもしれないね」バイク歴30数年にもなるうかというのに神谷さんは驚くほどバイク好きの意識が薄い。いや、気がないが自然体と言うべきだろう。神谷さんにとって、バイクは空気のように

当然の存在なのだ。

いま神谷さんの家にはFJ1200のほか大型車2台、4000cc1台計4台のバイクとクルマが1台ある。

そして、5人の子供のうち、免許年齢に達した3人の息子さんそれぞれ所有し、全員がバイク通勤。クルマはめったに使わないという。

「クルマでドライブするのなら、バイクでツーリングしたほうが楽しいからねえ。」

初めて行ったのは22、23歳の頃かな。野沢社長とか30人ぐらいで日光へ……。

林道でコケたり、パトカーに追っかけられたり笑、みんないろいろあったけど、本当楽しかった。それ以後……。

来やみつき。賑やかな旅がいいね。

「だからいまだってひとりではまず行かない。親子で行くことがほとんど。私が誘ったり、息子が誘ってくれたりして、1、2カ月に1度は出かけるよ。先日も仙台へ行って来た」

家の中でも、バイクの話題で家族

中が盛り上がる。

「でも、そんなことが珍しいの？ ふーん、ウチって変わってるかな？」

そんな神谷さんの夢は、いま小学5年生の娘さんがバイクに乗れるようになった時、全員でツーリングに行くことだ。

現代の子の元気宣言

夏休みはPW三昧。泥だらけの都会っ子、
坂川翔くん(10)の早朝トレーニング。

夏休みの早朝。普通の小学生なら、ラジオ体操に行くことだろう。いや、いまの子供たちなら、それさえしないうに違いない。

ところが翔くんは、朝6時から泥まみれになって遊んでいる。ひと遊び終えた翔くの姿は、頭の前からツマ先までまっ黒だ。

「最初はね、女房が洗濯物が増えるからって嫌やがってたんですよ。泥だらけのもの普通の洗濯物とを分けて洗濯しなくちゃいけないですからね」

おとなしい性格の翔くんが、PWを欲しがったのは、このコースをお父さんの喜市さんと散歩していた時のことだった。同じ年頃の子供たちが、オフロードを自由に走りまわっているのを目撃したのだ。

「とにかく目をキラキラさせて、そこから動こうとしないんですよ。普段は自分から何かをねだったりしない子なんですけど、この時はばかりは

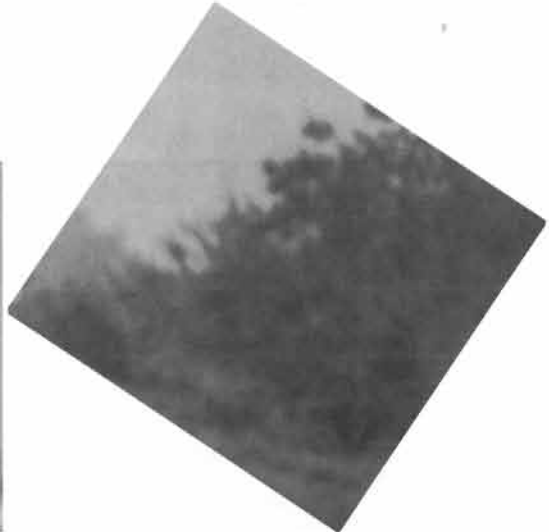
買って買ってとにかくうるさかった。親にすれば嬉しいことですけどね」

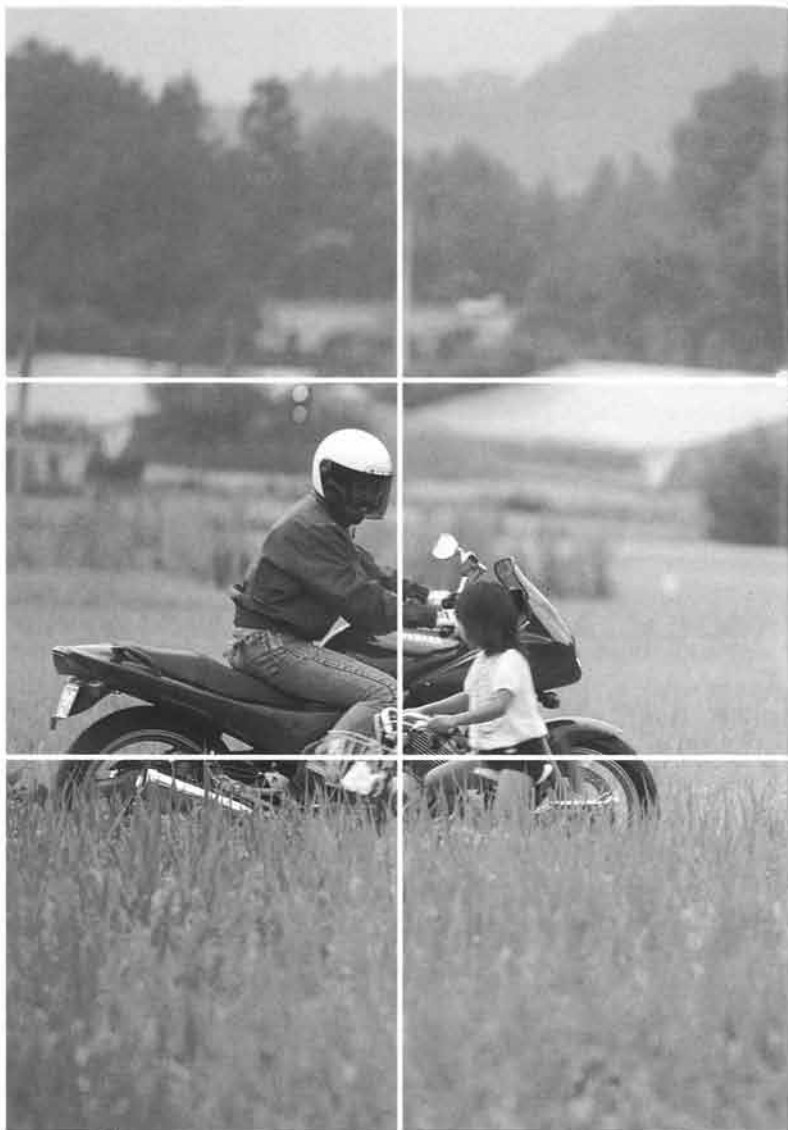
お父さんとふたりきりの練習を始めてからの翔くんは、明らかに以前とは変わったという。朝ごはんをしっかりと食べるようになったし、何よりうちでゴロゴロすることがなくなった。「外で遊んできなさい」と言われなければ遊びに行かなかった子が、「いつまで遊んでるの」と怒られるようになった。

「女房もね、いまでは洗濯も楽しいって言うんですよ。やっぱり子供は元気なのが一番ですからね」

しかし当の翔くんに聞いてみると、意外な言葉が返ってきた。

「バイク嫌い。難かしいんだもん」本当にそう思っているのか、照れ隠しなのか、表情からは読み取れない。しかし、毎朝お父さんを蒲団から引き出すのは、モトクロスパンツをはいた翔くんの役目になっている。





鬼先生が笑った日

恩師との再会は高速道路のサービシアリア。
ヘルメットで心が通じた前原由子さん(29)と鬼先生。

「あれ、お前ヨッコじゃないか」
常磐自動車道の谷和原SA、午後4時。懐かしいニックネームで前原さんは声をかけられた。ツーリングの帰りに、少し遅い昼食を体の中に流し込んでいる時だった。
声の主は中学校時代、前原さんが所属していたバスケットボール部の顧問、石原先生である。前原さんはギョツとした。それもそのはず、中学時代にはこの厳しすぎるくらいに厳しい先生に、よく泣かされたもの

なのだ。

厚かましく、声の大きなところは昔とまったく変わっていない。ただし少し違うところは、白髪が頭に目立つことだった。

「お久しぶりです」

前原さんはいまでも鬼のように見える先生に向かい、軽くあいさつをした。それで立ち去るつもりだったところが、先生がブラさげているヘルメットに目がいった。疑問に思い、「先生もバイクなんですか？」

とたずねてみると、そうだとする。

前原さんは驚いたが、

「私もなんです」と話すと、それ以上にも先生もビックリした様子だった。「気の弱いヨッコがなあ。分かんもんだなあ」

卒業してから約10年。大嫌いだつた先生が、急に親しく思えてきた。先生にしても同じだろう。いつもメモソソしていた内気な教え子と、10年たって初めて共通の話題を持っていたのである。

それ以来、ふたりは会っていないけれど、前原さんの自宅に毎年1通の年賀状が届くようになった。年賀状の中ではいつも、鬼の石原先生がSR400に乗って笑っている。

塾の先生ありがとう！

中学生の頃、RZ350に乗る塾の先生に出会って、藤村享平さんはバイクの本当の楽しさを知った……

以前、両親が町工場を経営していた頃、家にバツソルがあった。藤村さんがバイクに初めて触れたのはちようどその頃だった。

「母親のだったんですよ。まだ新品でね、ボクは小学生のくせに庭先でイタズラしておこられてました。当時、家の仕事から機械に興味があ

ついにあきらめちゃった。おこられたよ(笑) さんさんに。それ以来、メカは苦手。今も、オイル交換するくらいしか自分じゃやらないんです」
それでも、一度覚えたバイクへの興味は消えず、中学生の時通った塾で、ある大学生と出会った。

「アルバイトで塾の講師をやった人ですが、RZ350に乗るカッコいい人で、いろんなバイクの話をしてくれた。いつしかその人の授業をまじめに聞くようになって、成績もぐんぐん良くなった。当時、高校はムリなんて言われてたのに、ちゃんと合格できた。

おまけに、興味本位で暴走族に憧れたボクに、ツーリングの楽しさを教えてくれたのもその人」
それから16歳で藤村さんはすぐに免許を取得。あちこちへグルメリーリングして回るのが好きな、正統派ライダー

「いろいろの意味で、その人はボクの恩師だし、バイクがその橋渡しになってくれたわけだから、感謝しなくちゃね」

その人は、卒業後、某二輪メーカーに就職したそうだ。



あって、一度そのバツソルのエンジンをバラバラにしたことがあるんですよ。もちろん、ちゃんと組み上げるつもりでね。
ところが、どうしても直せなくて、



レースに無我夢中の日々 お客さんと一緒にレースに明け暮れた野沢徹社長。 "カッコよさ"だよ、やっぱり……。

東京・中央区月島で野沢モーターズを営む野沢徹社長は、今でこそあまりサーキットへ通わなくなったが、無類のレース好きである。

「今もシングルレースはやってるよ。SRXでマシン作って、BOITとかSOS、エコー・デ・カトルにお客さんが出てる。けっこう速いよ。

昔は、よくお客さん連れて走りに行ったね、FISCOへ。みんな自分でマシン作って走るんだ。夢中だったよ」と懐かしそうに目を細める。

そもそもは、まだ銀座の自転車店に勤めていた21、22歳の頃、鈴鹿サーキットで初めて日本GPが開催されるのを観に行った時から。

「'62、'63年かな。まだ山の中にポツンとコースしかなくてね、まわりは雨でぐちゃぐちゃよ。

そんな中、ルイジ・タベリや高橋国光、伊藤史朗やなんか走ってるわけ。すごいカッコよくて、独特のマシンにも新鮮な驚きがあったね」

「それからもう毎週日曜っていうとお客さんとサーキットへ行って、ほとんどウチに居なかったもの」と恨めしげに、懐かしげに奥さんが振り返る。

その頃のお客さんは、いまだにバイクに乗っている人が多い。

「それからモトクロス、次はミニバイク(YSR50)とレース歴は移る。

「この巨体でもさ、社長、速かったもんね」とまわりの若いお客さんから声が飛ぶ。

「バイクってね、やっぱりカッコよさが魅力だと思う。その最たるものがレースじゃないかな。

そこでお客さんと一緒にアツくなるし、コミュニケーションの場だったんだよね。

レースやってて、バイク屋やってよかったな、という充実感があつたから。最近では、ちよつとそれが不足気味だな、と反省してます(笑)」

三代目候補はPWボーイズ

父から継いだ店を息子たちへ。
夢が広がる『バイクサロン イイダ』のある朝。

子供たちにとって、怖いお父さんが少なくなっているという。家長制度など時代錯誤もはなはだしいが、それにしても寂しさを感じてしまう話だ。
忙しすぎてあまり家にいないお父



さんが原因なのか、クールになりすぎた子供たちが原因なのかは分からないが、父子のコミュニケーション不足が根にあるのは間違いないだろう。

だから飯田さん一家のような父子関係が、とても新鮮にみえてしまう。お父さんはいつも家族の中心にいて、ふたりの息子さんは父親に尊敬の心を抱いている。子供たちの言葉を借りるならば「お父さん？ 一番怖い人」といったところだ。

父・和明さんは、11年前にいまの店を継いだ。自転車併売でやってきた店を立派なバイクショップにしたのは、和明さんの努力だ。自分が一生懸命育ててきた店だからこそ、父から受け継いだ時と同じように、息子たちにバトンを渡せる日を楽しみにしている。

「ただね、去年あたりまではふたりとも、バイク屋さんはやだ」って言うてたんですよ。バイク屋よりもパン屋さんがいい、なんてね。きつと私の働く姿を見て、辛そうだなと感じてたんですよ」

そこで和明さんは、長男・弘明くんの7歳の誕生日に、とっておきの

プレゼントをした。PW50だ。

「もともと臆病な性格だから最初は怖がってたけど、いまでは弟の健と取り合いですよ。私が忙しくて二人を練習に連れて行けないと、お客さんたちに、コースに連れてって」とせがんだりしてる。やっぱりカエルの子ですね」

ふたりの息子さんが、自分たちのためにオリジナルペイントされたヘルメットを見せてくれた。ステッカーは自分たちで貼ったのだと自慢しながら。

「正直に言うと、ホツとしてますよ。このまま親父の仕事を毛嫌いされたら、どうしようかと思ってた。まだ本当に継いでくれるか分からないですけど、楽しみになってますね」

そろそろ学校に出かける時間。ランドセルを背負って店を出るふたりに、和明さんがたずねた。

「お前たち大きくなったら何になるんだ？」

少し照れたようなお兄ちゃんに代わって、健くんが笑って答えた。

「バイク屋さん」



お客さまと心のキャッチボール!!

右も左もわからず飛び込んだ世界。人との出会い、つながりに心を熱くする山浦宏明社長

「人間と裸の心で気持ちのやりとりをする。人とのつきあいがこんなに面白いってこと、最近になってやっと分かってきたよ」

YSP佐久、山浦宏明社長。33歳。180センチに届こうかという堂々の体格、彫りの深い顔。掌は、グロップのように厚い。菅原文太兄イを思わせる親分肌を感じさせる。

「商売を始める前はトラックの運転手をやっていた。ショップを始めて6年とちょっと。右も左も分からず

ただがむしやらだった。でも考えてみればいつも周りには心を割ってつきあえる人がいたんだよ」

トラックの運転手は生活の時間のほとんどを運転席で過ごす。孤独な仕事だ。そんな仕事から飛び込んだ「商売の世界」。「頭を180度切り替えなければならなかった」と山浦さんは述懐する。

手さぐりの毎日のなかで松明のように道を照らしてくれたのは、山浦さんを囲むお客さまたちだった。

「商売には不慣れなもので、言葉の荒さは隠しようがない。でもね、カッコイイ言葉を言えんかわりにお客さまとの気持ちのやりとりは精一杯やっている。裸でぶつかってきたんだ。例えばね……」

例えば、といて山浦さんはちょっと息をついた。

「若い高校生のお客さまがやってくる。なかには生意気な子もいるよ。そういう子が何回か店に通ううちにそれとなく注意してあげるんだ。するとすこしずつ態度が改まって『言ってくれたの社長がはじめてだ』って言うってくれる。その時は本当にうれしいなあ」

年配のお客さまからは逆に教えられることが多いという。地域のこと、商売について、そして言葉使い……。教え教えられ、気持ちのやりとり。

「人間とのつきあいはキャッチボールのようだよ」山浦さんはこう例える。はじめの一球はやりわりとスロロ。時には球を取りこぼすこともあるかもしれない。でも2球、3球と投げるにつれ、両者の呼吸はびつたり合ってくる。

こんどは相手によって球の強弱をかえて投げる。相手からも直球、カーブ、さまざまな球が返ってくる。

YSP佐久というフィールドを舞台に、山浦さんとお客さま、そしてお客さま同志でキャッチボールのネットワークがどんどん広がる。そんな球のやりとりが山浦さんを夢中にさせている。

遊・YOUR・誘SHOP

オフロード人気に拍車をかける 需要創造と育成活動

オフロードYRS

アウトドアブームと歩調を合わせるように、ますます人気の高まるオフロードラン。YES Sではこうした市場の声にこたえて、各地でオフの楽しさを伝える『オフロードYRS』を開催している。そこで今回は、このイベントに集まるYES Sスタッフの声を聞くために、筑波サーキット・オフロードコースを訪ねてみた。

テクニックとマナーを徹底して指導!!

『ヤマハライディングゼミナール・吉原朋正特訓会』は、ヤマハ東京株が主催する基本走行重視のオフロードYRS。トモさんこと、モトクロス国際A級ライダーの吉原選手が直接指導にあたるとあって、初心者から上級者まで幅広いライダー

に人気のあるイベントだ。

参加するライダーの多くは、オフロードランの初心者。初めてオフライディングに挑戦するライダーも少なくない。

「エンデューロレースに出てみたい」

「自分のDT200WRを乗りこなしたい」

「友達と林道ツーリングに行きたい」

といったところが参加理由のようだが、

意外と多いのが「オフロードはライディングの基本だから、一度しっかり覚えておいた方がいいと言われた」という答え。免許を取得したばかりのお客さまに、オフロードYRSをすすめる販売店さんが多いことが分かる。

インスタクターの吉原選手も、「オフロードを速く走ることも大切だけど、それ以上に日常の運転の中で役に立つテクニックや知識を覚えて欲しい」と話している。

しかし、オフロードの人気が高まるにつれて、少なからず問題が発生しつつあるのも事実だ。特に切実なのが環境保護に関する諸問題。モーターサイクルで進入できる場所、できない場所を判断するマナーが、いまだ明確に確立されていない。だからこそ、オフロードランの窓口であるオフロードYRSでは、テクニックと同様、ライダーのマナーについても直接的な指導を行なっている。

「オフロードランは自然と対話するスポーツ、だから自然を大切にしよう」と呼びかけているわけだ。

オフロードの楽しみは「征服感」と「開放感」

それにしても、林道ツーリングやエンデューロレースの人気の秘密はどこにあるのだろうか。YES Sエンデューロを開催すれば、どの会場も定員をはるかに





オーバーする。しかも、これから参加したいと考えている予備軍も、まだまだ増加傾向にあるという。そのあたりを吉原選手に聞いてみた。

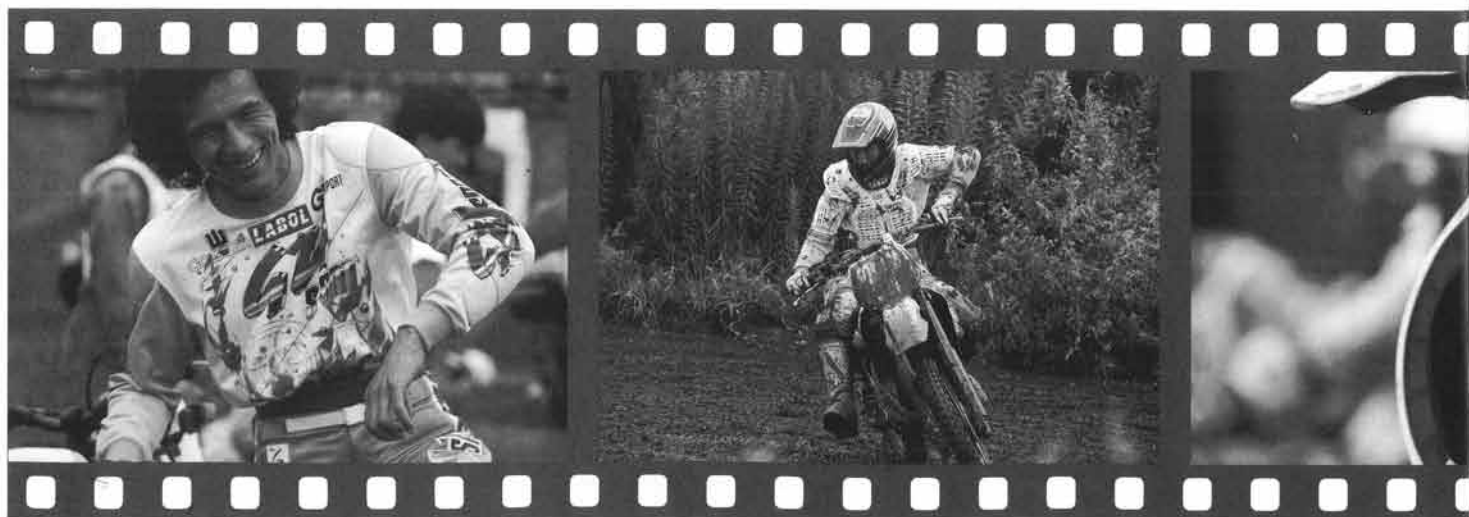
「一番大きいのは、征服感を味わえることだと思います。難かしいから、走り切った時の喜びも大きい。A級ライダーでもみんなそうなんです。一般の人ならなおのことですよ。」

もうひとつは開放感。これはセミナーに参加した人からよく聞くことなんですけど、着ているものが汚れてもヘッチャラって感覚がありますよね。そこだと思うんです。童心に戻って泥遊びをする大地と遊ぶ、これが楽しくないはずないですよ。」

取材にうかがった日の参加者は合計42名、うち女性が2名。年齢は予想以上に高く、平均で25歳くらいだろうか。多くの参加者がオンロードスポーツからの乗り替え、または乗り替えを考えている人たちだから、オフロードのウェアも十分に持っていないが、それでもトレーナーやジーンズをマッ黒にしながら泥遊びを楽しんでいた。

「一日だけじゃ上手くなれなかったけど、オフの楽しさ、面白さがよく分かりました」と、女性参加者のひとりも話している。

この人気をブームとして片付けてしまいうのは簡単だ。しかし、単なるブームや時流ではなく、オフロードライダーの健全な育成、そして環境の整備を行なうチャンスと考えたい。そうした意味では、やはり入門者を迎え入れる窓口であるオフロードYRSが、今後さらに重要な役割を担うことになるだろう。



※各地のオフロードYRSにつきましては、担当セールスマンまたはY.E.S.S.担当者におたずねください。

We Love Yamaha

好きだからちょっと一言



微妙に動いているお客さまの心 その振幅をうまくキャッチした販売店

19歳と34歳。『好奇心世代』と『しがらみ世代』。いや、いや、とかく人生は、その節目にいくつものキャッチフレーズをつけられるものです。

今回は高校生時代、例の「三ない」で多分、ももんとしたに違いない少年と、仕事と家庭に責任は増すばかり、思わず「ああ、たまにはひとりになりたい」と嘆きつつ、おじさん呼ばわりに抵抗する男のバイクに乗るまでの物語。

主役の2人は共にこの9月スポーツモデルとオンオフモデルに跨がった。で、第一幕、「A君ライダーになる」

航空機整備士を目指すA君は、「三ない」時代に別れを告げ、専門学校入学と同時に憧れのレーサーレプリカ購入計画をたてた。ターゲットはTZR250R。チロチロとくすぶっていたバイクへの欲望の火種が、ファイナレッドさながらに燃えさかった。彼は、学業を一速落とし、アルバイトにパワーをかける。

まず教習所へ通う費用がたまる。が、しかし「バイクは危ない！ 普通免許にしろ」と両親。A君まさに

足元から鳥がたつ。親との対決は「普通免許なら費用は出してやる」の一言で、糸も簡単に従った（ボクの友達もみんなそんな感じで最初は普通免許からだよ）。

「初めはバイクに興味があっても普通免許を取ったら、そのままクルマにになってしまう」仲間が多いという中でA君は初心を貫く。二輪免許への挑戦。ここでは父親が味方につく。

夏休み、一気に貯金が増える。二輪専門誌、カタログ、仲間から「TZR情報」をかき集める。そしてバイクショップ巡り。埼玉県の新興住宅街に住む彼のショップ巡りは自転車。だからどのお店からも「初めて乗るんだね」と言われる。それが一番いやだったとA君はいう。

二十歳前後は「みえっぱり世代」でもあるようだ。YSPを含め7店巡ったA君、さんざん迷った末、ある併売店とした。決め手は「改造をするな、バイクをかわいがってやれって言われたんです」

A君は「かわいがってやれよ、と言われた時、TZRがずっとボクを待っていてくれたように思ったんだ」とはにかむ。ナイーブな少年なのだ。

グッドライディングを！ A君。

第二幕は「あの青春をもう一度」タイトルは安易だが、男Bさんは、熱烈を絵にしたような「ヤマハ党」である。が、残念ながら加勢大周さんほどの足の長さがない。

仕事の責任は増し、付き合いも増し、自分のスーツよりも子供の英会話教室へ給与が当てられたりもする。そんなBさんは「気分転換にはこれが一番」と5年間遠ざかっていたバイクにリターンすることにした。

「バイクはヤマハ、ショップはYSP」そう決めているBさんはしかし、5店もYSPを渡り歩くことになった。それはまたどうしてなんだろう？

東京は多摩地区に居をかまえるBさん、久しぶりのYSP体験泣き笑い——。おっと、後がない。Bさん物語は次号でご紹介しましょう。

●
「We Love YAMAHA——好きだからちょっと一言」コラム欄への投稿をお待ちしています。ちょっと気になったいい話、ちょっと聞いてほしいこんな話、お客さまへも一声かけて投稿をおすすめください。

FORMULA

Ride

 **SUGO SUPERBIKE**
WORLD CHAMPIONSHIP RACE



ケビン・マギー 3位表彰台の健闘



世界の0W01 SUGOを疾走!



SUGO SUPERBIKE WORLD CHAMPIONSHIP RACE

GPレースと並んで、世界中のモーターファンに注目を浴びるスーパーバイク世界選手権。4年目を迎えるこのシリーズ、今年はレギュレーションの利点を生かしたL型2気筒のマシンがシリーズ戦をリードしているが今やレースの焦点は、パラレル4気筒勢の巻き返し。誰が上位に食い込むかといったところに絞られている。

そのシリーズ第8戦「SUGOスーパーバイク世界選手権レース」の決勝が8月25日、観衆4万人の見守る中で開かれた。13カ国から計49台のエントリーを得て行なわれた今大会、ヤマハ勢は昨年ランキング2位のF・ピロバインを筆頭に21台の最多エントリー。国際色豊かなOWO1がアクレツツフな走りを披露した。

レースは両ヒートともD・ホーレンが制したが、この日のもうひとつの話題はパラ4勢同士の超デッドヒート。とくに第2ヒートではOWO1を駆るK・マギーが復活をアピールして大健闘。スタートでやや出遅れたものの中盤から強烈なスパートで14周目には先行するA・スライトを抜いて3位まで浮上。結局25周最終ラップまでふたりの接戦が展開されたが、100分の1秒差でマギーは3位表彰台を獲得。鈴鹿8耐に続く嬉しいシャンペンシャワーを浴びた。



3年ぶりのSUGO登場。8耐に続いて嬉しいシャンペンシャワーを浴びたK・マギー

世界を走るOW01



昨年ランキング2位。今年もヤマハ勢最速のF・ピロバーノは今大会両ヒート7位獲得で確実にポイントを得た



接着剤メーカー「ロクタイト」カラーのOW01を駆るT・ライマーは、イギリス期待の新星



⑬N・マッケンジーと⑮P・ゴダードは「TEAM HAYASHI」からおなじみ伊太利屋カラーでエントリー



ドイツのヤマハインポーター、三井ドイツのサポートでシリーズ戦を走るU・マーク



フランスのソノートチームヤマハから出走のJ・Y・ムニエール



今年からシリーズ戦にフル参戦。オランダのJ・ドゥ・ブリー



フィンランドのJ・シュホーネンはアイスレース出身のウェットスペシャリスト



NEW PRODUCTS

ヤマハ・スーパーマーキングシステム

店の個性を

主張!

個性豊かなオリジナルロゴデザインが盛り込めるウェアとして人気を博すヤマハスーパーマーキングシステム対応アイテムに、お店の個性を主張するにふさわしい新しい仲間、メカニックスーツが加わりました。
吸湿性と着心地に優れた綿100%素材の『OM-701』と、チームヤマハのメカニックスーツと同様の素材で、『OM-702』。どちらも胸と背久性をプラスすることができます。
にマーキングができます。
動きやすさとファッション性を両立したショップスタッフの必須アイテムで、思いきりお店の個性を主張してください。
また、お店のクラブチームのメカニックスーツとして、お客さまにもぜひおすすめください。

ワーキングスーツ
5着より
オーダー可

オーダーロットは5着から受け承ります。



ベースメカニックスーツOM-702

素材：綿70%、ポリエステル30%
カラー：パープルブルー、レッド、グリーン
サイズ：S、M、L、LL、3L
メーカー希望小売価格：¥9,000

ベースメカニックスーツOM-701

素材：綿100%
カラー：ブルー、レッド、グリーン、ブラック
サイズ：S、M、L、LL、3L
メーカー希望小売価格：¥5,800



from SAFETY

安全の話題

『バイクフォーラム'91』参加者にみる 環境改善、社会意識向上への熱き想い

前回、交通事故の状況をさまざまなデータから検証し、その傾向を探してみました。今回は、当事者であるライダーの側から二輪車に対する考え方やイメージ、安全意識を探ってみたいと思います。

8月19日(バイクの日)、東京・よみうりホールで開催されたイベント「バイクフォーラム'91 人とバイクの友好会議」(主催・日本自動車工業会)来場者を対象に集められたアンケート結果です。

もちろん、こうしたイベントへ積極的に参加する人たちがベースなので、その分良識的な意見への偏りがあることを含んでおかなければなりません。それでも500名の定員を上回る来場者があったこと自体、バイクの楽しみ方をまじめに考えようとする意識の高まりを示していると言えるでしょう。

そのアンケート回答者の内訳をみると、年齢層で最も多いのは20代(45%)。続いて30代(21%)、40代(11%)などとなっており、一番参加してほしい10代は残念ながら8%でした。しかし、これからの交通社会でリ



ライダーシップを取ってゆくべき20代、30代の人たちが中心となっているのは心強いところです。

こうした年齢分布を反映してか、所有免許別でも中型45%、大型28%とスポーツ車が中心ですが、二輪免許を持っていない人が原付と同じ12%となっており、その大半はこれから免許を取りたいとする積極派。二輪車に対する、ライダー以外の人の関心も高まりつつあるとみてよさそうです。

また、女性の比率が31%と高いのも特徴のひとつ。特に20代では男：女=4：3にも達しています。

さて、アンケートの中で「バイクとの楽しい付き合い方」をたずねると、圧倒的に多いのはツーリング。仲間や家族と和やかに楽しむことは、「他人のその姿を見る」いずれの場合も高く支持されています。

その反面「バイクに不快感を感じる点」としては、マナーの悪い運転や違法改造などによる騒音、暴走族

がまっ先にあげられ、自らはライディングしやすい服装、ルールの遵守、他人の迷惑をかけない運転を心がけたいとする意識が高いようです。

また、四輪から幅寄せされたりイヤガラセをされた経験のある人が多く、四輪ドライバーのマナーや二輪車の特性についての認識不足が引き起こす問題として、今後も課題となりそうです。

これらを含めたうえで、各コメントからは二輪車の危険が高いことをライダー自身もよく自覚しており、逆にその緊張感や集中力が必要とされる場所に魅力を感じていることが読み取れます。

そして、「人とバイクの友好生活」キャンペーンに対し、バイクの社会認知度向上、ライダーのモラルアップ、さらには行政上の問題改善による環境の是正などを強く望む声が多く、二輪車を一部のマニアの乗り物にさせたくないと考えているのは、やはりライダー自身のようです。



セーフティ 人とバイクのハーモニー

第三回二輪車セーフティスローガン・一般男性部門最優秀賞作品



静かにやさしく、いい運転。

●やめよう、マフラーの不正改造/
●いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし!

S A L E S

ディバージョンの魅力をより深く浸透 『スペシャルバイクフォーラム』開催

オンロードスポーツのフラッグシップモデルとして登場したディバージョンは、第1ステップの導入期を過ぎ、いよいよ第2ステップの育成、フォロワー期にさしかかっています。

これからディバージョンをさらに幅広い拡販するうえで、最も大切な時期といえるでしょう。

そこで、ディバージョンの話題を盛り上げ、魅力をより深く浸透させるフォロー策として、『ライダーズクラブ』誌とのタイアップイベント『スペシャルバイクフォーラム』を企画、東京と大阪の2会場で開催いたします。

内容は、『ライダーズクラブ』編集長

の根本健さんを司会進行役に、ディバージョン開発担当者を迎えた『ヤマハイズム』やディバージョン』についてのディスカッションなど。

つきましては、参加を希望されるお客さまを募集しておりますので、ディバージョンを購入された方はもちろん、見込客、ヤマハファンのみならず、ぜひご案内ください。なお参加費は無料です。



大阪会場／11月10日(日)・ヤマハマリーナ琵琶湖 13時から試乗会
※参加希望者多数の場合は、お断わりすることがあります。

Y. E. S. S.

シーズンだから大いに利用したい 3つのYESSSスポット

モーターサイクルの醍醐味を味わうには、やはり気持ちよく走れる秋のツーリングが一番ですね。

お店でもこれからさまざまな目的のツーリングイベントが盛りだくさんに企画されていると思います。

そこでぜひご利用いただきたいのがYESSSの提携宿泊施設『YESSS

ポット』。

ライダー専用のうれしい設備を備えた『ツーリング・インCHINO/NUMATA』や、民宿・弘染荘と合宿所のほかMXコース、ミニバイクコースなどを備えた『グリーンパーク弘染園』の3カ所があり、いずれもYESSSスタッフならではの特典を用意して

います。

● ツーリング・インCHINO
問合せ／長野県茅野市茅野2724
177 0266(3)19
65

● ツーリング・インNUMATA
問合せ／群馬県利根郡利根村大字園原字梅木平277
0278(56)3603
宿泊費／3000円(素泊り)

● グリーンパーク弘染園
問合せ／広島県世羅郡世羅大字黒淵
728 08472(7)
1755

入場料／500円(1台)
宿泊費／弘染荘(1泊2食付)
YESSS・4000円
一般・5000円

※素泊りは2000円引き
合宿所(素泊り・寝袋持込)
YESSS・1500円
一般・2000円



S E R V I C E

信頼される店づくりのために積極活用！ YTSヤマハ二輪車整備士講習会

いよいよ今月、年に一度の『Yヤマハスタートナメント』地区大会、全国大会が開催されます。

お客さまに十分満足いただける高度なサービスは、お店の誇りであるとともに、長いお付き合いを続けるために欠かせない要素。

各店、各地区代表となられるサービ

スマンのみなさんひとりひとりが、この大会でさらに自らの技術を高められるよう、ご健闘をお祈りします。

しかし、それを培うのに必要なことは日頃の努力と経験、そして正しい基礎知識の修得です。各地で開催している『ヤマハ二輪車整備士講習会』を、ぜひご利用ください。

YTSヤマハ二輪車整備士講習会日程

会場	北海	ヤマハ東北	東	研修センター(ヤマハ中野)	研修センター(ヤマハ中野)	ヤマハ中野	ヤマハ四国	福	研修センター
10月			2M 7-9 B 22-24	2M 2-4	B 22-24	2M 15-17 B 岡山			
11月		2M 11-13 2M 14-16 4M 18-20 4M 21-23	4M 6-8		2M 6-8	B 19-21 B 広島	B 12-14 B 高知	B 6-8	
12月		B 3-5 B 10-12 B 盛岡	北 9-11 東 16-18	4M 11-13	2M 10-12 B 17-19	B 3-5 B 山口		2M 4-6	
92年 1月	2M 23-25 4M 27-29 4M 30-31	B 20-22 B 仙台	2M 16-18	2M 20-22 4M 23-25 北	B 22-24	B 16-18 B 岡山	B 22-24 B 広島		
2月	B 3-5 旭川	B 4-6 B 2M 18-20 4M 24-26	B 4-6 D 12-15	4M 5-7 D 12-15	2M 12-14 4M 18-20 B 25-27	B 12-14 B 岡山 B 19-21 B 福山 4M 27-29 B 広島	B 18-20 B 徳島	4M 13-15	
3月		B 9-11 2M 16-18 4M 23-25	2M 4-6	2M 11-13 B 17-19	4M 2-4 B 岡山 B 11-13 B 松江			B 10-12	

B/ベーシック 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター
※都合により開催日の変更および中止をする場合がありますので、ご了承ください。

K A R T 11月1日よりいよいよ会員募集開始！ 新モータースポーツクラブ『ワイズカフェ』



四輪モータースポーツの中では最も安全性が高く、手軽で入門しやすいのがレーシングカートの魅力。
しかも、人気のF1にそっくりの迫力あるドライビングを味わえるということで、今、大変な人気を呼んでいます。
しかし、楽しみ方のほとんどがレー

スばかりであるため、もっと気楽に肩ひじ張らず、純粹に走りや雰囲気を楽しみたいという声もしいだいに多くなってきました。
そこでヤマハでは、よりレジャー色を強め、スポーツ走行主体の新しいモータースポーツクラブを提案するクラブ『ワイズカフェ』を設立する準備を進めています。

すでに、F1ドライバールーベン・ベルグ選手をキャラクターとして起用したポスターや雑誌広告、パンフレットなどで告知活動を展開。さらには、夢の応援団」とのタイアップによるワイズカフェ専用カート『FK-9』（12月発売予定）展示・試乗会も行なっています。
ワイズカフェに入会すれば、FK-9を全国各地の提携コースで自由に走らせるための専用ライセンスを取得できるほか、つま恋やSUGO、合歡の郷といった提携施設で会員専用車の利用、あるいは一般レンタル車を会員料金で利用できる、などの特典も用意しています。

また、入会時にはシステム手帳型メンテナンスブック、ステッカー、メンバーズカードをお渡しします。また、クラブ発足記念キャンペーンといたしまして、入会先着1000名さまにオリジナルテレホンカードのプレゼントも実施します。
ぜひ広くご案内ください。取扱い窓口など詳しくは、四輪スポーツ誌広告またはワイズカフェ事務局（〒438 静岡県磐田市新井2500 MC国内営業部営業企画課内）まで資料をご請求ください。

3575-4771までおたずねください。

SUGO モータースポーツの秋はSUGOで 観て、走ってフル回転！

いよいよ10月5日・6日は、お待ちかねの『ラッキーストライクカップ・第19回TBCビッグロードレース』を開催します。

毎年、国内外のトップライダーが顔をそろえ大熱戦を展開してくれる『TBC』ですが、今年も世界グランプリ500ccクラスで常にW・レイニーと

優勝争いを演じたM・ドゥーハン、K・シユワツ、そして鈴鹿8耐で堂々の2位に入り復活したK・マギーら、超強力な海外招待選手が来日。
対する全日本ライダーは、藤原儀彦、平忠彦をはじめ、伊藤真一、岩橋健一郎、P・ゴダード、D・ビーティらが手くすねひいて待ち受けます。

秋の空を焦がす熱いバトルにご期待ください。

また、その同じSUGOの国際コースにお客さま自身が愛車を持ち込んで走れるサーキット走行会『ラストラップ91inSUGO』を、11月17日・18日に行ないます。

ゲストの現役国際A級ライダーを囲んで、賑やかに過ごす2日間。初心者も大歓迎しますので、ツーリングを兼ねて多くのお客さまと一緒に参加ください。なお、ゲストには藤原儀彦選手を予定しています。

●TBCビッグロードレース
チケット／前売り・おとな3700円
ベア券7000円
当日券・おとな4200円
子ども1000円

●ラストラップ91inSUGO
参加費／22000円（走行料、保険料、1泊2食、パーティーイベント費などを含む）
定員／100名
締切り／11月10日（定員になり次第締切らせていただきます）
※詳しくは、SUGO東京営業部 ☎03・

個人的なキャスター、コメントーターが切れ味鋭くテーマに迫ります。
日本テレビ系列全国ネット。ヤマハ提供。毎週火曜日23時～23時55分。

A P 10月のヤマハ提供番組

■ONOFF

海と陸、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数かずを、紹介する番組です。
巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマインドたっぷりにお届けします。

10月5日（マリン編）
『サー・空・SOLAR91』

10月12日（マリン編）

『土佐ビルフィッシュトーナメント』

10月19日（バイク編）

『バイクにもっと乗ろうよ』

10月26日（マリン編）

『エンジン一筋』

※都合により、一部内容が変更となる場合があります。

※一部地域では放送日が異なります。
テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪

10月12日（マリン編）

『土佐ビルフィッシュトーナメント』

10月19日（バイク編）

『バイクにもっと乗ろうよ』

10月26日（マリン編）

『エンジン一筋』

※都合により、一部内容が変更となる場合があります。

※一部地域では放送日が異なります。
テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪

10月12日（マリン編）

『土佐ビルフィッシュトーナメント』

10月19日（バイク編）

『バイクにもっと乗ろうよ』

10月26日（マリン編）

『エンジン一筋』

※都合により、一部内容が変更となる場合があります。

※一部地域では放送日が異なります。
テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪

10月12日（マリン編）

『土佐ビルフィッシュトーナメント』

10月19日（バイク編）

『バイクにもっと乗ろうよ』

10月26日（マリン編）

『エンジン一筋』

※都合により、一部内容が変更となる場合があります。

※一部地域では放送日が異なります。
テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪



YESスタッフが自主開催！ チャリティ100台ツーリング

「目の不自由な方たちに盲導犬を贈ろう」を合言葉にYESスタッフが行なっている「ナイスライド募金」運動は、みなさんのあたたかいご支援により、年を追うごとに大きく広がっています。

そうした中、8月4日には栃木県のツーリングクラブ「BSR(バード・セーフティ・ライダーズ)」のメンバーを発起人とする「第2回BSR・チャリティ100台ツーリング」が開催されました。

これは、2年前にも100台ツーリングを行なったBSRが、今回、参加者から「ナイスライド募金」を募ろうと再び企画したもので、当日は150台、162名のライダーが参加。

会津背あぶり高原まで約250kmのツーリングと、昼食会、ゲーム大会などを楽しみました。この時集まった募金は8万1000円にのぼり、相馬恵雄BSR会長から矢板市のYESスタッフ・森悦サイクル森知彦さんに手渡されました。



愛情の込められたデザインが900点！ 関西「ニューJOGデザインコンテスト」

83年の発売以来、高性能・高機能スクーターの定番として数多くのお客さまに親しまれている「JOG」シリーズは、昨年ついに累計150万台を突破する大ヒット商品となりました。

そこで、ヤマハ関西側では「JOG・愛されて150万台キャンペーン」として「ニューJOG・カラーデザインコンテスト」を展開。4月末日までの締切りで898点の応募作品が集まりました。

すばらしいデザイン・ユニークな発想の作品ばかりがそろい、入選作を選出するのに大変苦労するほどでしたが、このたびようやく優秀賞3点が決定。それぞれのデザインを施した「ニューJOG 愛情号」もでき上がり、8月29日には、受賞者の方を招いて表彰式を行いました。

そのほか、惜しくも選にもれた10作品を佳作として追加、ヤマハTシャツが贈られています。

鈴木秀明・都良夫揃って完走！ '91オーストラリアン・サファリ

日本人選手も大勢参加し、海外ライダーのなかでは最もなじみの深い「オーストラリアン・サファリ」が今年も8月8日から11日間にわたって開催されました。

今回、二輪部門の参加は74名。うち日本人選手が41名を占めています。やはり注目は常連となった鈴木秀明選手で、弟の都良夫選手と兄弟で出場し話題を集めました。

使用したマシンはヤマハXTZ660テネレ改。大型燃料タンクをセットするなどして手を加え、昨年よりもコンパクト、低重心なものとなっています。

しかし、今年のコース設定は昨年以上にハード。ブルダストというオーストラリア特有のふかふかサンドが巻き上げる砂ボコリ、大きなギャップやガレ場の急斜面、あるいは川渡りなど、非常に変化に富んだコースに悩まされ、二輪の完走者はわずか28名しかありません。



そんななか、秀明選手は持ち前のガッツと楽しむ走りをする織り混ぜ、都良夫選手にも気を配る余裕を見せながら見事完走。

一方、都良夫選手も秀明選手に劣らぬ鋭い走りながら、夕々の海外レース



その旺盛なチャレンジスピリットは、少しも劣えを感じさせない秀明さん、都良夫さん(左から2番目、右端)

というところで無理を避け、安定したペースを維持、兄弟揃ってダーウィンのゴールをくぐりました。

同行したヤマハのモーターサイクル本部実験部、溝口部長は、「2人ともしっかり走ってくれたので、十分なテストができました」と満足げ。

秀明選手も「26年間のキャリアを、これからのいろいろな形で生かしたい」と意欲満々でした。



自分のデザインした「愛情号」のでき映えに受賞者は感激もひとしお

『東京世界陸上』女子マラソンで 女性白バイ隊、FZ750Pに乗って さっそうとデビュー!

世界のトップアスリートを集めて開催された『第3回世界陸上選手権・東京大会』は、数多くの新記録が生まれ、大変な盛り上がりを見せました。

そんな中、大会に一層の華やかさを添える女子マラソンが8月25日に行なわれましたが、その先導を務めたのが警視庁初の婦人警官白バイ小隊『クイーンスターズ』です。

このチームのみなさんは、78名の応募者から選ばれた精鋭12名。60日間の厳しい訓練を終え、晴れてこの日デビューとなりました。

ヤマハFZ750Pにまたがり、38名の選手たちを先導する姿に、沿道から「白バイもガンバレ!」と声援が飛



女子マラソンの優勝は、ポーランドのパンフィル選手(2時間29分53秒)



スタート前はさすがに緊張さ

ぶ中、堂々と大役を果たしています。なお、『クイーンスターズ』& FZ750Pは、今後もV-Pの先導や交通安全指導などで活躍することになっています。

ロードレース最高峰クラスの さらなる活性化を願って 『YZR500』エンジン販売開始



伝統あるレースは守り続けてゆきたい

'91シーズン、ついに世界グランプリではヤマハYZR500を駆るW・レイニーが2年連続チャンピオンを獲得し、ヤマハは再びロードレースの頂点を極めました。

振り返ればこのクラスはレイニーの師匠であるK・ロバーツをはじめ、ロソン、アゴスチーニ、シーン、ヘイルウッドといった輝かしい名ライダーを生み出してきた伝統あるロードレース界の最高峰です。しかし、近年はマシンの不足などが

らプライベートチームの参加が難かしくなり、出場台数も減少。一部マスコミにはその存続さえ危ぶむ声も伝えられています。

国内の全日本選手権もやはり同様の状況にあり、ヤマハは'91年、世界グランプリと全日本選手権に多数のYZR500を走らせ、500ccクラス活性化に努めてきました。

そしてこのたび、来たる'92年に備えてYZR500のエンジン販売を行ない、さらに活性化をはかっていきます。第一弾はヨーロッパの有力コンストラクター。オリジナルフレームと組み合わせマシンを作り上げる伝統的な手法により、YZRのエンジンがどう生かされるか、ワークスチームの活躍とともに楽しみます。

'92年F1グランプリに新体制で参戦! チーム7UP ジョーダン・ヤマハ

今年、イギリスの名門・ブラバムとパートナーを組んでF1グランプリに出場したヤマハは、ついに念願の初ポイントをあげるなど、OX99エンジンの順調な熟成を進めてきました。

そして、一層のポテンシャルアップ、さらには勝てるマシンづくりをめざし、来シーズン以後4年間、同じイギリスの『ジョーダン・グランプリ・リミテッド』と契約。チーム7UP ジョーダン・ヤマハを結成して'92シーズンに臨むことになりました。

そのために、チーフデザイナー、ゲイリー・アンダーソンは新型シャシー『ジョーダン92』を設計。また、旧型ジョーダン91シャーシでのエンジンテストも11月から開始するほか、新たに約3700㎡の広大な『ジョーダン・テクニカルセンター』を設立してニューマシンの開発にあた

ります。このコンビ結成に際して、ヤマハ発

動機部長谷川武彦代表取締役専務は「この新体制のもと、近い将来、チャンピオンシップをめざして果敢にチャレンジしていきます」と確信しています」と語り、ジョーダン・グランプリオーナー兼チームディレクター、エディ・ジョーダンも

「チームの将来を固め、安定した成果を得るために強力なエンジンメーカーを必要としていました。今、ヤマハという完璧なパートナーとバ

ートナードシップを結べたことは大きな前進です」と抱負を述べていました。ドライバ、スポンサー、マシンなどチーム体制の詳細についてはまだ決定していませんが、この新チーム、早くも周囲の大きな期待を集めています。



扱いやすさ、美しさが好評！ 「ディバイジョン」教習講師車で活躍

今年7月に新登場して、早くも多くのファンをつかんでいるディバイジョンが、このたび教習所にも講師車としてお目見えしました。



実用性はもちろん、外観の美しさも所内で好評

導入されたのは、神奈川県横浜市の保土ヶ谷モーターズスクールさん。普通自動車専門の公認教習所ですが、初心運転者期間制度に伴う原付講習指定教習所になっており、その追尾用に2台導入されたわけです。

ディバイジョンの出番は、所内と周辺路上を使って行なわれる実技講習の時間。

「低速トルクが十分で乗りやすいし、受講者の運転に合わせて瞬時の加速・減速、方向転換が要求される追尾車にうってつけですね。それに、美しいデザインは講師車として目立ちやすいだけでなく、所内の女性にもカッコイイと好評です」と教官は満足そうに話していました。

遊び心と先進技術、体力の証明！ 『夢の船コンテスト』で初優勝

今脚光を浴びる船と海の未来に、より大きな可能性を追求する心、人材を育てようという「第一回夢の船コンテスト」が、(財)日本船舶振興会の主催により、8月31日(土) 東京・平和島競艇場で開かれました。

これは、人力船によるスピード競争部門と、オリジナルの動力、デザインを競うアイデア部門に分かれ、計7・2点もの応募が集まりました。

その中で、スピード部門30艇、アイデア部門31艇がこの日の審査に選出され、それぞれの優秀性を披露し合いましたが、スピード部門にはヤマハの社内有志チームも2組参加。

最後は、造船会社やボートデザイナー



勝利の秘密は優れたアイデアと技術、そして体力!! 優勝した「フェニックス」号

1ばかりの強豪たちが勝ち残る中、ヤマハの2組とも決勝に駒を進め、見事優勝と6位入賞を果たしています。

■'91Y.E.S.S. イベントスケジュール(10~11月)

地区	日程	イベント	会場	連絡先
北海道・東北	10月10日	'91Y.E.S.S.チャレンジエンデューロ宮城大会第3戦	モータースポーツランド川崎	宮城県内のY.E.S.S.ショップ
	10月13日	Y.E.S.S. No.1 CUP札幌第3戦	サッポロスポーツランド	Y.E.S.S.札幌事務局 ☎011(641)2711
	10月20日	Y.E.S.S. No.1 CUPつみろ久スレース選手権大会第4戦	むつみサーキット	いわきミニロードスポーツクラブ ☎0246(24)2503
		Y.E.S.S. No.1 CUP秋田第3戦	新協和カートランド	Y.E.S.S.秋田事務局 ☎0188(64)1781
10月27日	'91Y.E.S.S. エンデューロ青森大会	月見野スポーツランド	Y.E.S.S.青森事務局 ☎0177(39)8081	
関東	10月10日	Y.E.S.S. No.1 CUPセフティミニバイク筑波シリーズ	筑波サーキット	セフティミニバイク事務局 ☎03(3617)9748
	10月13日	Y.E.S.S. 群馬レッツエンデューロレース	尾瀬オフロードコース	Y.E.S.S.群馬事務局 ☎0272(21)4375
	10月14日	ヤマハラライティングゼミナル加藤栄重特訓会	筑波サーキット	Y.E.S.S.東京本部事務局 ☎03(3444)9312
	Y.E.S.S. No.1 CUPアイドル東京耐久レース	筑波サーキット	YOUSHOPID アイドル ☎0471(52)9388	
		10月20日	Y.E.S.S. 神奈川エンデューロレース	富士スピードウェイ
	Y.E.S.S. 埼玉エンデューロレース	筑波サーキット	Y.E.S.S.埼玉事務局 ☎0486(66)7011	
東部	Y.E.S.S. No.1 CUPセフティミニバイク筑波シリーズ	筑波サーキット	セフティミニバイク事務局 ☎03(3617)9748	
	11月3日	Y.E.S.S. No.1 CUP茂原選手権シリーズ	茂原モータースポーツランド	Y.E.S.S.千葉事務局 ☎0472(65)6411
	Y.E.S.S. 千葉エンデューロレース	茂原モータースポーツランド	Y.E.S.S.千葉事務局 ☎0472(65)6411	
	11月10日	Y.E.S.S. 群馬エンデューロレース	尾瀬オフロードコース	Y.E.S.S.群馬事務局 ☎0272(21)4375
	11月17日	ヤマハラライティングゼミナル加藤栄重特訓会	厚木自動車学校	Y.E.S.S.東京本部事務局 ☎03(3444)9312
	11月24日	Y.E.S.S. No.1 CUPセフティミニバイク筑波シリーズ	筑波サーキット	セフティミニバイク事務局 ☎03(3617)9748
中部	10月6日	Y.E.S.S. No.1 CUPつま恋第5戦	つま恋カートコース	Y.E.S.S.浜松事務局 ☎053(441)5661
	10月13日	Y.E.S.S. No.1 CUPミニバイクレース東海シリーズ	作手カートランド	Y.E.S.S.岡崎事務局 ☎0564(21)7131
	10月20日	バズルライドto三ヶ根	三ヶ根山周辺	Y.E.S.S.岡崎事務局 ☎0564(21)7131
	11月3日	Y.E.S.S. No.1 CUPミニバイクレース	豊田スピードランド	Y.E.S.S.岡崎事務局 ☎0564(21)7131
	Y.E.S.S. エンデューロレース第4戦	富士見ランド	Y.E.S.S.沼津事務局 ☎0559(31)4553	
西部	エンデューロレース第4戦	天竜川特設コース	Y.E.S.S.浜松事務局 ☎053(441)5611	
	10月6日	Y.E.S.S. オフロードエンデューロ大会第8戦	湘南オフロードエリア	Y.E.S.S.滋賀事務局 ☎0775(53)0235
	10月13日	'91Y.E.S.S. No.1 CUPシリーズ第6戦(750cc関西選手権)	名阪スポーツランド	Y.E.S.S.奈良事務局 ☎0742(61)1011
	10月20日	'91関西Y.E.S.S. レーシングフェスティバル	名阪スポーツランド	Y.E.S.S.関西本部事務局 ☎06(535)1661
	11月3日	'91Y.E.S.S. No.1 CUP第7戦大阪・京都・奈良	スポーツランド生駒	Y.E.S.S.北事務局 ☎0720(38)1122
九州	Y.E.S.S. オフロードエンデューロ大会第9戦	ブラザ坂下	Y.E.S.S.堺事務局 ☎0722(53)0451	
	Y.E.S.S. ロックンロール大会第4戦	竜岡トライアルランド	竜岡トライアルランド ☎07712(6)3377	

地区	日程	イベント	会場	連絡先
中国	10月6日	Y.E.S.S. エンデューロ第3戦	グリーンパーク弘楽園	Y.E.S.S. 福山事務局 ☎0849(22)5445 Y.E.S.S. 岡山事務局 ☎0862(25)2191
	10月13日	Y.E.S.S. エンデューロ第4戦	周東スポーツランド	Y.E.S.S. 山口事務所 ☎08397(2)4351
	10月22日	Y.E.S.S. No.1 CUP広島第4戦	柳井カートランド	Y.E.S.S. 広島事務局 ☎082(842)7771
	11月10日	Y.E.S.S. No.1 CUP第4戦	備北ハイランドパーク	Y.E.S.S. 福山事務局 ☎0849(22)5445 Y.E.S.S. 岡山事務局 ☎0862(25)2191
Y.E.S.S. エンデューロ第5戦		オートランド三次	Y.E.S.S. 広島事務局 ☎082(842)7771	
11月24日	Y.E.S.S. No.1 CUP広島第5戦	柳井カートランド	Y.E.S.S. 広島事務局 ☎082(842)7771	
四国	10月6日	Y.E.S.S. No.1 CUP四国大会第8戦	松山オートランド	Y.E.S.S. 松山事務局 ☎0899(72)0704
	10月10日	Y.E.S.S. エンデューロレース四国大会第8戦	池の内スーパーランド	Y.E.S.S. 高松事務局 ☎0878(67)6313
	10月20日	Y.E.S.S. トライアル第2戦	スポーツランド飯野	Y.E.S.S. 徳島事務局 ☎0886(63)2181
	11月3日	Y.E.S.S. エンデューロレース四国大会第9戦	美馬モーターランド	Y.E.S.S. 徳島事務局 ☎0886(63)2181
11月17日	Y.E.S.S. No.1 CUP四国大会第9戦	高知競馬場特設コース	Y.E.S.S. 高知事務局 ☎0888(33)8500	
九州	10月6日	Y.E.S.S. No.1 CUPレース	中九州カートウェイ	カートショップスタッフ ☎0968(44)6323
	Y.E.S.S. No.1 CUPレース	マルワランドカートコース	Y.E.S.S. 北九州事務局 ☎093(571)4031	
	'91バイクビレッジin平戸	平戸市根獅子	Y.E.S.S. 佐賀事務局 ☎0952(32)0811	
	10月13日	Y.E.S.S. バイクビレッジ	佐賀県どんぐり校村	Y.E.S.S. 北九州事務局 ☎093(571)4031
	10月20日	Y.E.S.S. タイムラリー	長崎市近郊	Y.E.S.S. 長崎事務局 ☎0958(46)5060
	10月27日	Y.E.S.S. No.1 CUP第5戦	福岡カートランド	Y.E.S.S. 福岡事務局 ☎092(862)1239
		Y.E.S.S. ソフトボール大会	住吉浜リゾートパーク	Y.E.S.S. 大分事務局 ☎0975(68)5122
		Y.E.S.S. オフロードライティングスクール	栗野岳	YSP 国分 ☎0995(45)5678
	Y.E.S.S. ショップ対抗ソフトボール大会	大淀川河川敷	Y.E.S.S. 宮崎事務局 ☎0985(24)5515	
	11月10日	Y.E.S.S. オフロードレース最終戦	ハイテック広川	Y.E.S.S. 久留米事務局 ☎0942(52)8000
Y.E.S.S. No.1 CUP第5戦	新協和自動車学校	Y.E.S.S. 大分事務局 ☎0975(68)5122		
エンデューロレース第4戦	モーターパーク福岡	Y.E.S.S. 福岡事務局 ☎092(862)1239		
11月17日	Y.E.S.S. 対抗ソフトボール大会	吉野公園	Y.E.S.S. 鹿児島事務局 ☎0992(68)5101	
Y.E.S.S. 100台ツーリング	えびの高原	YSP 国分 ☎0995(45)5678		
11月23日	Y.E.S.S. No.1 CUP最終戦	三井オートスポーツランド	Y.E.S.S. 久留米事務局 ☎0942(52)8000	
11月24日	Y.E.S.S. ミニバイクレース	中九州カートウェイ	カーショップスタッフ ☎0968(44)6323	

社会現象のウラ・オモテを探る『流行記』

「おたく族、フリーター、結婚しない男たち、モータースポーツ……。今、こうしたトレンドワードが数々生まれ、世の中に多くの話題を提供しています。

しかし、その言葉ひとつひとつの意味は知っていても、なかなか実際の姿は浮かんできつらいものですし、具体的にどういふ現象なのかを知る人は意外と少ないようです。

この本は、話題となっているトレンド現象を直接取材し、さまざまな人の証言や観察を通してその深層に迫ります。

特に、人の行動傾向、心理傾向の変化に主眼が置かれているため、お客さま相手のご商売を考えるうえで大いに役立つでしょう。1200円
武田徹・著 日本経済新聞社・刊



MUSIC

円熟した実力派シンガーの
シブイ魅力が秋を彩る

今回の上位には、久しぶりの浜田省吾、佐野元春が並んでランクイン。20代、30代にはちょっと懐しく、10代には新鮮、といった曲やアーティストが注目を集めている今、この二人は出るべくして出てきた感があります。

この傾向はもうしばらく続きそうない気配。次に出てくるのは誰か、先取りしてみてもどうでしょう。

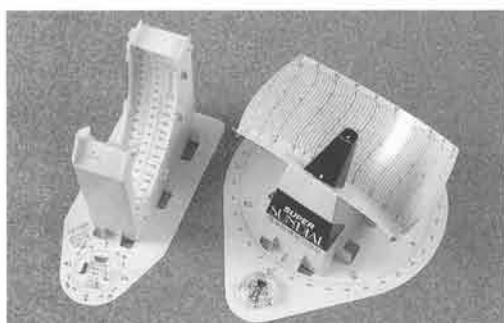
順位	タイトル	アーティスト
①	Edge Of The Knife	浜田省吾
②	Slow Songs	佐野元春
③	METALLICA	メタリカ
④	Calendar Girl	中村あゆみ
⑤	MUSEE	E B I
⑥	SCENE II	A S K A
⑦	Lucky	渡辺美里
⑧	chou-fleur	岡村孝子
⑨	湘南	チューブ
⑩	LOVER'S DAY	(インストゥルメンタル盤)

(9/9付 オリコン調べ)

GOODS

手軽に作れて超精密な 紙製日時計『スーパースタイル』

秋分の日を過ぎ、日ごとに秋らしくなってきました。
ハイキングをかねたツーリングには



TRENDS

遊び気分じゃやってられない？ マジメに楽しむルール『あれこれ』

先日、東京では「世界陸上競技選手権大会」が行なわれ、カール・ルイスの1000m世界新記録などで大いに話題を振りまきました。

それとともに季節も本格的な秋のスポーツシーズンを迎え、各地で運動会や各種競技会が華やかに開かれています。

こうしたスポーツを気持ちよく楽しむためには、しかるべきルールに則つとつたうえで参加することが第一条件ですが、ゲームや遊びとして普及している種目(?)にまで、「公式ルール」が存在するのを二存しましょうか。

ポピュラーなものは、映画『オーバー・ザ・トップ』でも知られる「腕すも」や飛行距離、滞空時間を競い合う「紙飛行機」、綱引きなどがあります。

しかし「これにも？」と驚くようなユニークなものもあり、たとえば夏の浜辺でよく見られる「すいか割り」がそのひとつ。
全農が設立した日本すいか割り協会



によれば「すいかと競技者の間の距離は9m15cm。棒は直径5cm以内で、長さ1m以内のもの。競技者は手拭いで目隠しし、7回3分の2回転させて競技を開始する。持ち時間は1人3分」と決められています。
もともと話題作りのために作られた

'91 YAMAHA NOVELTY

ぶらり旅立つ、必携品

●ファーストエイドキット(No.372066/1000円)
旅先でのちょっとしたケガなら即対応。バンソウコウ、ガーゼ、綿棒などをコンパクトに収納して場所をとりません。ツーリングはもちろん、タウンユースでもポケットにどうぞ。

●トラベルキット(No.372070/2800円)
思い立ったが吉日。秋晴れの下へぶらりとツーリングに出る時は、忘れずに携帯したいトイレタリーグッズ。清潔感あふれるブルーでコーディネートしています。

●トラベルハンガー(No.372073/700円)
旅先でもちょっとした身だしなみへの心づかいを忘れない、おしゃれな人に。手の平サイズに折りたためるハンガーです。

協会ですが、予想外に反響が大きく、正式な協会発足も検討中とか。
また「7年後の長野冬季オリンピックでエキジビションゲームを企画中」といわれているのが「雪合戦」。
北海道社管町商工観光課にある雪合戦事務局では「雪玉の大きさは直径6.5cm〜7cm、重さ120g以下。数は1セット1チーム90個とし……」など細部にわたって規定した国際雪合戦ルールの規則集を作成しています。
そのほか「けん玉」「タコあげ」「ドッジボール」などにも各協会と公式ルールが設けられ、それぞれ普及活動を展開中。
競技、というより遊びという色が強いものほどマジメさが妙にウケており、実際に公式戦をやりたい、と人気を集めているようです。
そのうち、ジャンケンの国際統一ルールなんていうのも登場するかもしれません。



シリーズ後半の勢いは、まさに他を圧倒するものがあった。表彰台に立つレイニー至福の瞬間！

WORLD RR W・レイニー2年連続 ワールドチャンピオン獲得!!

'91世界ロードレース選手権シリーズ第14戦 ルマンGP

W・レイニー（マルボロ・チーム・ロバーツ）が最終戦のマレーシアGPを待たず、2年連続ワールドチャンピオンに輝いた。

9月8日、フランス・サルテ地方にあるルマンで開催された第14戦。シーズンをとおして激しいタイトル争いを展開してきたレイニーとM・ドゥーハンにとつて、グランプリサーキットの中でも最もタイトなトラックのひとつルマンが雌雄を決する舞台となった。

500ccクラス、決勝出走台数は19台。好スタートを切ったのはシュワンツ。そしてポールポジションからスタートしたJ・コシンスキー、さらにドゥーハン、ガードナー、注目のレイニーと続く。

レースは、この5人が形成するトップグループの息詰まるデッドヒートが長時間にわたって展開。しかし終盤に入り、トップ争いはシュワンツとドゥーハンの2人に絞られ、レイニーは3位をキープ。結局、シュワンツ、ドゥーハン、レイニーの順でチェッカーを受けた。一方、コシンスキーは、ガードナーを抑えて4位に入る。

「勝たなかったけど、シリーズタイトルの方向ももっと大事だと思った。上位2人につき、後続のライダーを引き離すことに集中したんだ。もちろん、1位になるチャンスは一度だけあったけどね。

ラスト3周になって初めてタイトルのことを意識した。チェッカーを受けて、レースが終わり、やったんだと実感した。ほんとうに



うれしい」とレイニー。

レイニーの'91年ワールドチャンピオンシップは、開幕からの3戦で2勝するなど、圧倒したレースが多かった。

しかし、第5戦イタリアGPでドゥーハンの猛烈な追い上げに合い、タイトル争いでトップの座を許す。だが、第9戦オランダGPでその座を奮い返したレイニーは、その後はまったく安定した力強い走りドゥーハンをよせつけなかった。

第14戦まで優勝6回、イタリアGPの9位以外はすべて表彰台に立つという堂々たる成績を残してのチャンピオン獲得であった。

ご声援ありがとうございます。

TR 中川義博3年振りの優勝 ランキングもトップを奪還!

「久しぶりだよ、うれしいね。これではずみがつく」と満面にえみをたたえる中川。それもそのはず、表彰台の一番高い所に立つのは、88年の東北大会以来、3年ぶりだったのだ。

9月8日、大阪府・プラザ阪下で開催された第5戦。当日は台風の影響が心配されたが、時おり小雨が降る程度で、大きな影響はな行なわれた。

第1ラップ、好調な滑り出しをみせたのは中川と伊藤敦志のヤマハ勢2人。減点はともに14。シリーズポイントでも熾烈な争いを演じているこの2人に関心が集まる。

2ラップ目に入って中川はさらに調子を上

げ、減点5、クリーン9を記録する。しかし、前大会「TYM」をデビューウインに導いた伊藤は、減点20を喫してしまう。

絶好調の中川は、3ラップ目に減点15となるが、総合成績で2位に入った工藤晴幸（ホンダ）との差を10ポイントつけ、今季初優勝。実に3年ぶりの美酒を味わった。

一方、伊藤は、大番狂わせの2ラップが最後までひびき6位に終わった。これでシリーズのランキング争いも、伊藤と2ポイント差ながら再び中川がトップに返り咲き、ヤマハラライダー2人によるチャンピオン争いは、がぜん面白くなってきた。



「勝つよ、この次もね」勝ち方を思い出した中川。タイトルとヤマハのエースの座をかけた伊藤との勝負は残り2戦



Brabham YAMAHA

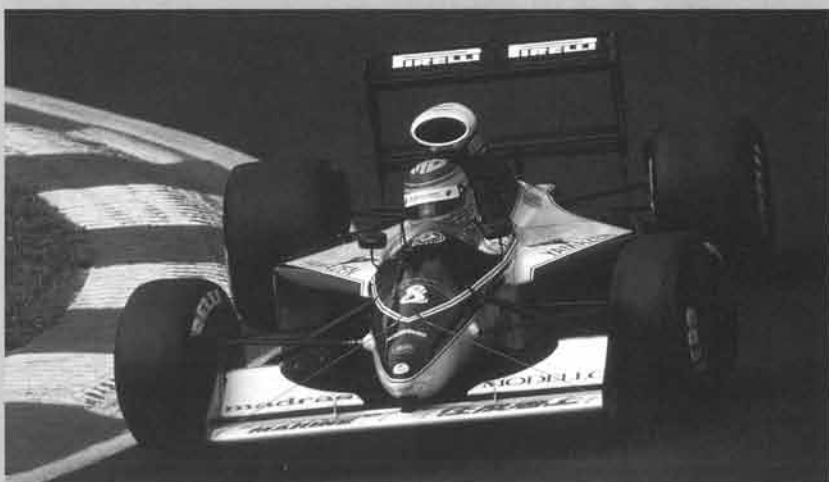
BRABHAM-YAMAHA FORMULA ONE TEAM

・ヤマハF1情報・

M・ブランデル6位入賞 念願のポイント獲得!!

8月23～25日に開催された第11戦、ベルギーGP。金曜日の予備予選を1・2位で通過したブランドルとブランデル。本予選でもセッションごとにタイムを詰め、ブランデル13番手、ブランドルが16番手のグリッドを得た。

翌25日、44周で争われる決勝レースがスタート。ブランデルは一時、17番手まで後退したが、除々に順位を回復し、31周目に10番手に上がる。39周目には一気に7番手へ。そしてラスト3周で6位に上がり、そのままチェッカー。本人にとって、また『ブ



ラバムーヤマハ フォーミュラワン チーム」にとっても初の選手権ポイントを獲得した。

「爽やかな気分。私にとってもチームにとっても素晴らしい日となった」とブランデル一方、ブランドルも9位で完走している。

チームマネージャーのジョン・マクドナルドは「最高の気分だ。今日の成績はチーム全体の喜びだ。今までの努力が十分に報

われた」と語った。

また、2週間後に開催された第12戦イタリアGP（9月8日決勝）でも、2台揃っての完走。中でもブランデルはレース中、5位のベストラップを記録している。

実力が発揮されてきた『ブラバムーヤマハ フォーミュラワン チーム』。シリーズ残り4戦となったが、大きな期待がよせられている。



一組あたりの結婚費用は780万円 さらに拡大するブライダル市場

例年、三和銀行から発表されるたびに、その数字に驚かされる結婚準備金の額。いまブライダル市場は、確実に拡大を続けている。

そこで今回は主都圏に20店舗の営業所を属開する結婚式場紹介所の大手、東京プロデュース婚礼センターをお訪ねし、膨らむ市場の秘密を探ってみた。

一生に一度の晴れ舞台はやはり「豪華主義」!?

儀式離れが進んでいると言われる最近の若い世代ですが、こと自分の結婚式についてはまったく別、ブライダル市場は拡大の一途だそうですね。三和銀行の調べでは、一組あたりの結婚費用が780万円にもなると聞いています。

「はい。これには披露宴やハネムーン、新居の準備などが含まれていますが、披露宴だけでも300万から400万円(100人規模)というあたりが平均値になりつつあります。

ハネムーンも一番人気がオーストラリア、続いてアメリカ、ハワイ、ヨーロッパと、年々豪華になってきていますね」
「需要がそれだけあるのですから、受け皿となる式場の方も、ずいぶん工夫をされているのではないですか？」

「やはり豪華になっていく一方で个性化的な結婚式を望まれる方が増えていますから、そのニーズを受けて式場側も変化を遂げています。たとえばいま、教会での

式を希望される方が増えていますけれども、実際は信者が事前の婚姻講座に通わない限り受け入れてもらえません。そこで、もう少し手軽にということと、式場の敷地内にチャペルを造るところが増えています。

基本的に人気のある式場の条件は、昔もいまも新しく豪華、そして安い、の3つです。この条件を満たすために、約2年の単位で改装するところが多いようですね」

「豪華で安い? 何か矛盾しているように感じますが。」

「そうですね。ただこれは、お金をかけるところにはかけるけど、かけないところにはあまりかけない、ということなんです。披露宴の費用とひと口に言っています。

も、会場代、衣裳代、演出代、写真代

そして引出物代と細かく分類されます。

その枠のなかで「ネームバリューのあるホテルで式を挙げる代わりに、演出にはお金をかけないようにしよう」という操作をするわけですね。実際、以前のようにゴンドラを使ったりする演出は、最近ではあまり喜ばれていないようです」

レーザーディスクを利用してボタンひとつで式場選び

「東京プロデュース婚礼センターさんを訪れるカップルは、どのような手順で式場を決定するのですか？」

「まず、予算や人数、日取り、大まかな



「トマトクラブ」の会報誌は、この秋から一新。「LOVESSE(ラヴィッセ)」として創刊する。ブライダルの総合的な情報を提供。



式場選びは臨場感のあるレーザーディスクで。東京プロデュース婚礼センターでは、相談カウンターで映像を見ることができる。



場所などを伺って、提携する約300の式場から希望に合った式場を選出し、それぞれの式場のパンフレットやアルバム、見積書をご覧になっていただいております。

特に私どもではレーザーディスクを使って、映像のご案内もしているのですが、相談中にもその場で会場の雰囲気がかかるということで、たくさんの方に好評をいただいております。これらの作業か

ら最終的に3〜4件を選んで、実際に現地へ下見に行っていたのが一般的なパターンですね

——基本的には一生に一回の儀式ですから、顧客管理などは難しいですね。

そのあたりはどうされているのですか？

「私どもでは、やがてブライダルを迎える18〜36歳までの未婚女性を対象に、会員組織を運営しています。

〈トマトクラブ〉という組織がそれなん

ですが、ゲストを招いての講演会や情報誌を通じて、結婚に関する情報を提供しています。約5000人の方が入会されていますが、ひと口に言えばブライダルエイジのレディースクラブというところですね。

こうして入会してくださった方が、やがて結婚の時を迎えて当センターを利用してくださるといっていただけます」



店舗のリニューアルがきっかけとなった 暖かさの演出と、お店の活気

町並みの変化を先取りした質の時代へ向けたお店の変身

YSP調布/桑山周三マネージャー

東京都調布市飛田給1-34-16 ☎0424-82-7891

次々と変化する街に対し
バイクショップはどう変わる？

いま、古い町、新しい町、歴史の長さにかかわらず、日本のあちこちの商店街で急速に再開発が進められている。そしてそれは、都市部の話だけではないようだ。

町並みの整理にともなって、建て替えられる商店や改装される店舗の多くがクリーンで明るいイメージが変わっていく。酒屋がカビ臭さを払拭してリカーショップに変わる、魚屋だって今は生臭さなどほとんどしない。

ではバイクショップはどうだろう。バイクショップはオイルで汚れている、ガソリン臭い、うるさいなどネガティブな印象が先行しがちだった。しかし、街全体がどんどん変化していく今、旧来のイメージでは街から取り残されてしまう。バイクショップは、町の一員としてどんどん衣替えがされているようだ。

店舗のリニューアル、これが今回の企画テーマである。

今回お訪ねしたのは、この8月に店舗を改装したばかりのYSP調布さん。調布市は東京都の郊外、新宿から電車ですぐ20分内外の距離にある。

国道20号線は別名・甲州街道。市街地からやはずれた調布飛行場の横をかすめて、東西に伸びている。YSP調布さんはこの甲州街道沿い、調布飛行場に面している。

YSP調布さんを訪ねるのはじつは今が初めてではない。2年前の7月にもおうかがいしているのだ。

改装を機に、店内の空間の使い方を考え直しました お客さまの視線の動き、足の流れなどをね



談話スペースは居心地よく。什器の配列にも気を使う

「こんにちは」
店内に入ると、まずは明るさに圧倒される。
これは三方の壁面がすべてガラス仕切りとなっていること、そして二階まで吹き抜けとなった高い天井が大きな役割を果たしている。そればかりではない。店内は白を基調色にコーディネートされていることも、明るさ感につながっているようだ。ただし、このレイアウトは改装前とは変わらない。しかし……、改装後の今回は明らかにイメージが変わっている。大きく変わったのは壁と床の全面を張り直し、天井を塗っただけのようである。店舗の構造には手が入られていないようだ。なのに、店内の明るくクリーンな印象はまるで窓を開け放ち、風を呼び

込んだかのような

壁と床、天井を変えただけでこんなにも印象が変わるものなのだろうか。

「いらっしやい」迎えてくれたのは桑山周三さん、43歳。あいさつもそこそこに、さっそく質問をぶつけてみた。

「今回の改装はほとんどが内装だね。壁と床の張り替えと、天井の再塗装。この3つがメインかな」

改装は8月の中旬、3日間を集中してあたった。外壁の変更も当初の案にはあったそうだが、今回は内装を重点的に取り組み、外装は外壁を洗浄、クリア塗装を施したのみにとどめた。

空間を味方につけて
解放感を演出させる

「店内の印象が変わったのは、改装を機に商品レイアウトやお客さまの談話スペースを見直したことがあるかもしれないね。今まではせっかくの吹き抜けも生かしきっていなかったし……」

ショールームスペースには、新車が9台、陳列されている。そのうちの2台はステージに乗せられている。そういえば改装前はなかったはずだ。

「このステージは改装のとき作ったんです。台にディスプレイすることで空間の高さも強調できますから」

前後左右に加えて、視線を上下に移動させる。新しい視線の動きを演出す

ることで、空間をアピールするのだ。さらに……。

1階の吹き抜けのショールームスペースにつながるように、サービススペースの上にはお客さま談話スペースがテラスのように張り出している。

桑山さんによると、このテラス部分に今までは商品展示の什器を置いていた。

ところが什器は吹き抜けとテラスを仕切ってしまふ。什器ひとつが閉鎖的な感じを演出してしまっていたのだ。

確かに、見上げると吹き抜けの高い空間が、そのまま2階談話スペースへと続いている。

空間がとぎれない解放感が、そこにはある。



改装には綿密なイメージスケッチを用意した、と桑山さん

改装はお店のイメージアップの大切な1ステップ

「2階はまだできあがっていないけどちよつと見ますか……？」そう言ったら桑山さんは2階へ案内してくださった。

2階はヘルメットやウェアなどの陳列スペースと談話スペース、そして商品の保管と従業員のちよつとした休息スペースを兼ねたクロゾドスペースが設けられる予定だという。

「今までは商品のストックが置いてあったり、事務用具が置いてあったり、煩雑なスペースだった。せっかくお客さまの談話スペースがあっても、お客さまは居心地が悪い。結局、1階のショールームに溜まってしまふんですよ。」



大きなショーウィンドーを生かし、メイン機種をディスプレイ。スポットライトで外に向かったのアピールも忘れない

いま、バイクショップは質の時代を迎えています 意識を一新するのに店舗改装は大きな効能があります

これでは初めて来店されたお客さまも入りにくい……」

そう言って桑山さんは一枚のイメージスケッチを取り出した。そこに描かれているのは、お客さまが談話できるような大きな木製テーブルと、整然と並べられた商品の陳列用什器。全体のイメージはアウトドア調だ。

「2階はアットホームな暖かいイメージに仕立てたかったんですよ。暖かなコミュニケーションスペースに作り変えることで常連の方は2階でくつろげる、初めてのお客さまも常連客に気づかないくしヨールームスペースを見れる。そのあとで、2階にも興味を持ってもらえます。どちらのお客さまにも居心地よくしたかったんですよ」
常連客はお店の「活気」の部分でも



この日、野原さんのセローを納車。接客態度もお店の質の一つと桑山さん



認証工場として認可を受けているサービススペース

ある。しかし一方で新規のお客さまには入りにくい壁にもなりがちだ。暖かな談話スペースはどちらのお客さまにもほっと息をつける場となるのだ。

改装は単にクリーンアップだけでは
ない、お店のイメージアップの1ステップなのだ。

「お店がきれいになると集まるお客さまの層も変化します。悪質な改造バイクで乗りつけるようなお客さまは近寄らない。逆に純粋にバイクが好きなライダーが集まります。スクーターを買うお客様も入りやすくなりますよ」

桑山さんは続けて、従業員の意識も変わる、これも改装の効能のひとつですね。友達にも「俺の勤めている店だと自慢できる」と言っていますよ、ハハハハ。自分の勤め先に誇りを持てるこ

とはとても大切なことですから」

改装することでもなによりもお店全体に「やる気」「活気」が生まれた、と桑山さんはうれしそうに話す。お店の明るさは従業員の皆さんの表情の明るさにも原因がありそうだ。

バイクショップもこれからは質の時代。これまでの臭い、汚い、うるさいの店舗経営では街からもライダー自身からも疎外されてしまいうらう。バイクショップは確かな技術サービスと暖かみのある対応が基本。しかしプラスチックアルファとして「クリーン」なお店を演出することも重要なファクターだ。店舗の改装は、新しい意識を呼び込むためのスキルアップになっていくんだな、と感じてしまった。



お店のスタッフ、左より小野さん、鈴木さん、桑山さん



■YSP調布

東京都の城西地区各市を連絡する国道20号線（甲州街道）沿線に建つ。お店の前に大きく広がるのは軽飛行機専門の調布飛行場である。調布飛行場敷地に隣接してグラウンドも作られており、市民いこいの場として日曜には親子連れも多い。将来には総合グラウンドも整備される計画がたっており、YSP調布近辺はさらに賑やかになることが予想される。店舗は今年8月中旬の3日間を使って集中的に改装をおこなった。

●オープン：昭和59年3月●店舗規模：敷地およそ100坪内にショールーム・展示場あわせて50坪、サービススペース20坪、2階に20坪を有する●展示台数：ショールーム内に新車10台、隣接する屋根付の展示スペースに12台、オープンスペースに30台あまりを展示●商圏：調布市を中心に半径約10キロ（うちとくに5キロ）●客層：25歳を中心としたサラリーマン層●クラブ：オンロードバイクの「WAY」、オフロードバイクの「チーム・どろんこ」、レディスチームの「KIDSテン」●営業時間：午前10時～午後8時●定休日：毎週水曜日



国道に面する店舗は北向き。暗くなりがちなショールームを空間の広さと多くの照明で明るく変身させている



オープンスペースに並ぶスポーツモデル群。煩雑なイメージを払拭している



改装途中の2階、談話スペース。床も木目調でアウトドア風

